

令和4年度 南大沢スマートシティ協議会

第4回協議会

2023年3月8日（水） 10:30～12:00

第4回 南大沢スマートシティ 協議会

#	議 事
1	協議会の開催概要
2	第3回協議会の振り返り
3	実証の効果検証の状況
4	社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討
5	南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の最終まとめ
6	今後の運営体制 ※非公表
7	その他

1.協議会の開催概要

令和4年度の協議会の進め方・討議内容

以下の内容について、今年度は4回の協議会を開催

#	開催時期	詳細
1	第1回協議会 <8月8日(月)>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催概要 ・実証実験の計画(企画概要) ・実施計画Ver2のパブコメ報告
2	第2回協議会 <11月4日(金)>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度実証内容と部会の開催状況 ・南大沢スマートシティイベント(オープンハウス)実施概要 ・実施計画(Ver3)改定方針
3	第3回協議会 <2月10日(金)>	<ul style="list-style-type: none"> ・3部会の概要報告 ・実証実験の実証報告 ・社会実装に向けた施策の検討(ICTインフラ構築の検討) ・実施計画(Ver3)中間まとめ ・今後の運営体制 ・過年度実証のフォローアップ
4	第4回協議会 <3月8日(水)>	<ul style="list-style-type: none"> ・実証の効果検証の状況 ・社会実装に向けた施策(サービス)の具体検討 ・南大沢スマートシティ実施計画(Ver3)の最終まとめ ・今後の運営体制 ※非公表

本日

※上記の討議内容は、現時点での予定であり、今後の協議会での議論や事業者の技術・サービスの状況等により変更可能性あり

1.協議会の開催概要

(参考) 協議会・部会の開催スケジュール

本日の第4回協議会では主に各部会の検討状況、実施計画（Ver3）の中間まとめ、R5年度以降の運営体制について討議

	1月			2月				3月	
	16日-	23日-	30日-	6日-	13日-	20日-	27日-	6日-	13日-
協議会				★2/10 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 3部会の報告・実証実験の実証報告 社会実装に向けた施策の検討 実施計画（Ver3）中間まとめ R5年度以降の運営体制 過年度実証のフォローアップ 				★3/8 第4回 <ul style="list-style-type: none"> 実証の効果検証の状況 社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討 実施計画（Ver3）の最終まとめ 今後の運営体制 ※非公表 	
情報・その他部会	★1/17 第2回 <ul style="list-style-type: none"> これまでの検討状況の棚卸 ICTインフラ構築の目的（提供価値） ICTインフラの全体像の討議 			★2/2 第3回 <ul style="list-style-type: none"> ICTインフラの全体像の定義 ロードマップ策定 実証事業の報告（中間）等 				★2/28 第4回 <ul style="list-style-type: none"> ICT実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 ICTインフラの討議	
まちの賑わい部会	★1/25 第2回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（中間） 社会実装に向けた施策（サービス）検討 等 			★2/21 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 					
モビリティ部会	★1/24 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（中間） 社会実装に向けた施策（サービス）検討 等 			★2/27 第4回 <ul style="list-style-type: none"> ICT実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 各種サービスの討議					

※上記の討議内容は、現時点での予定であり、今後の部会での議論や事業者の技術・サービスの状況等により変更の可能性あり

2.第3回協議会の振り返り

第3回協議会の振り返り

第3回協議会委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に活かしていきます

協議会委員からのご意見

今年度の実証事業

- 電動キックボードの効果検証では**出来るだけ詳細なデータを取得して分析**することが望ましい。
- 各実証においては、**どのようなデータがインフラ側へ提供でき、どういったデータがあればサービスの高度化やICTインフラの価値向上に繋がるのか**についても、合わせてまとめられるとよい。
- A Rナビに関しては、**3 D都市モデルのサービス改善に繋がるような評価**ができると良い。

社会実装に向けた
施策の検討

- デジタルサイネージについて、今後の実装に向けては単に情報提供だけでなく**情報収集する機能についても考慮する必要**がある。

今後の運営体制

- **事業負担金制度の設立や協議会設置要綱の改正については、委員への十分な意思疎通をした上で丁寧に推進**してほしい。

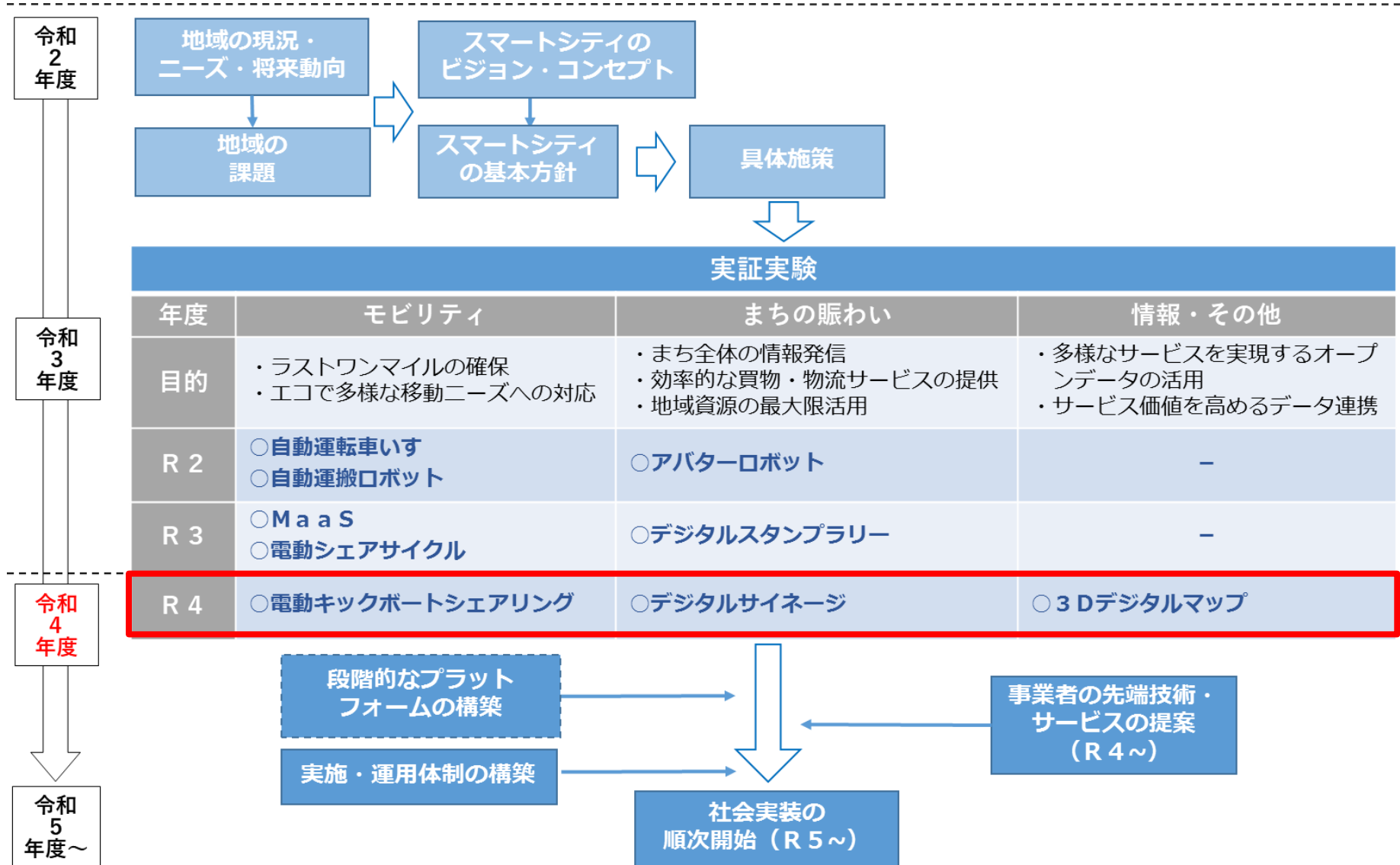
協議会としての対応

- 詳細なデータとして、GPSで取得したデータや個人属性のデータがあり、この中で公開できる情報について、アクティブユーザー別の分析等のより詳細な分析を行う。
- 各実証において、サービス側から提供可能なデータのほか、ICTインフラ側から価値向上や高度化に繋がるデータについて、合同部会の開催等により、具体的に検討していく。
- 3 D都市モデルについては、例えば、車いすが円滑に走行できる坂の傾斜情報の取得有無など、サービス改善に向けた有効なデータについても検証する。

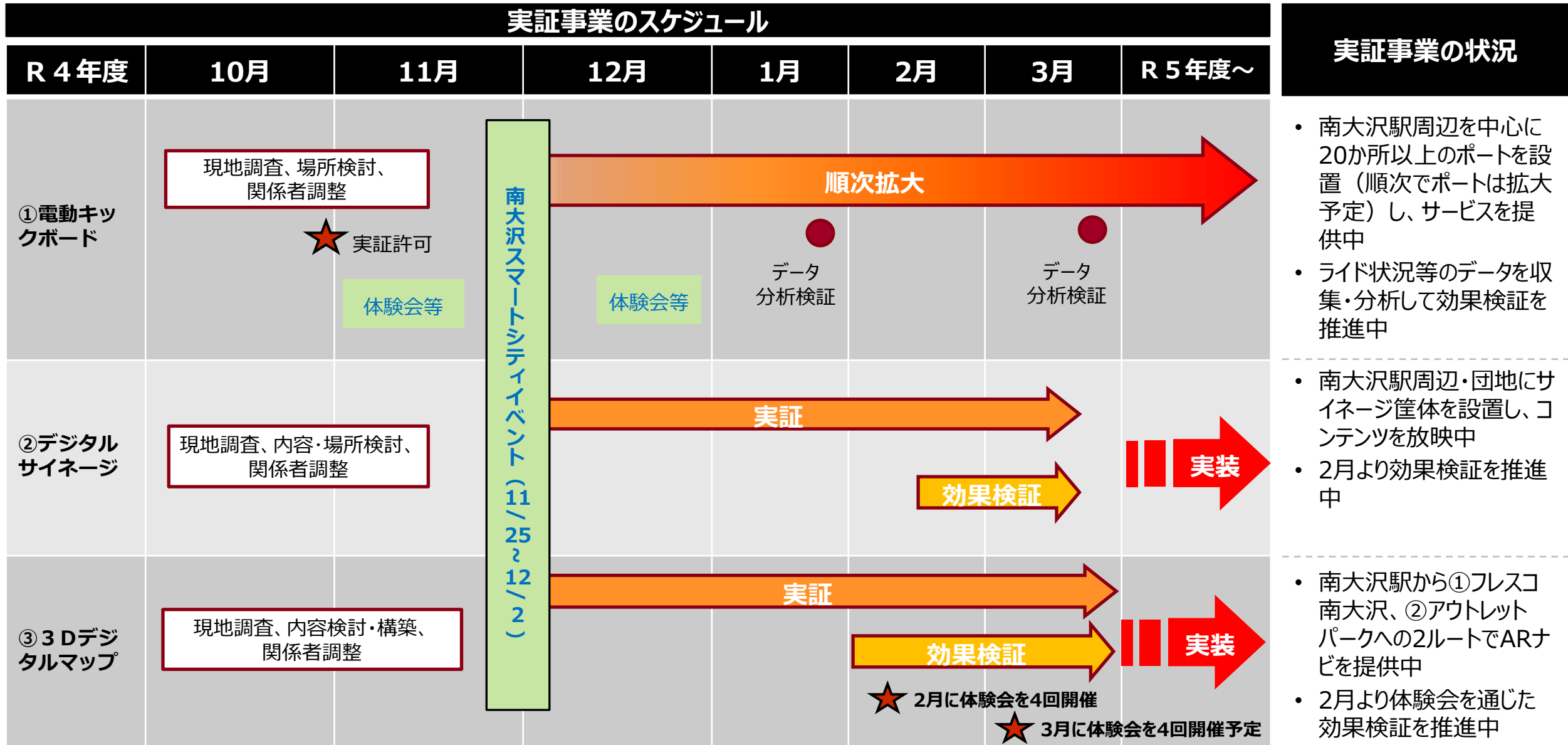
- デジタルサイネージ等における情報収集の機能について、西新宿での取組事例（スマートポール）等を参考にしながら、ICTインフラとの連携も含めて検討する。

- 事業負担金や要綱改正等については、引き続き、丁寧に討議・調整し、前回ご報告した体制案を基本として事業を推進していく。

これまでの検討と実証実験



実証事業の状況・スケジュール



※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

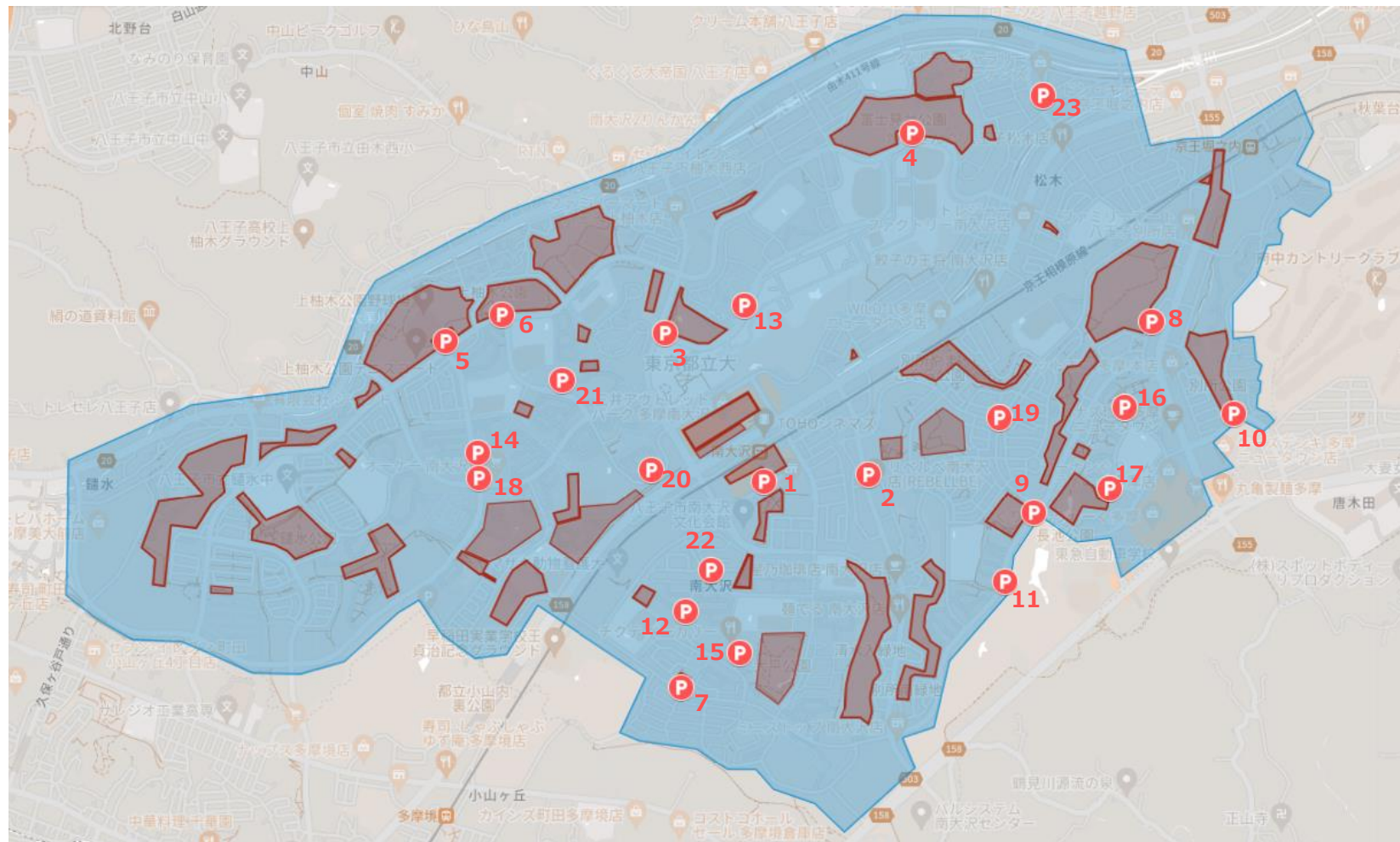
3.実証の効果検証の状況

駐車ポート設置状況

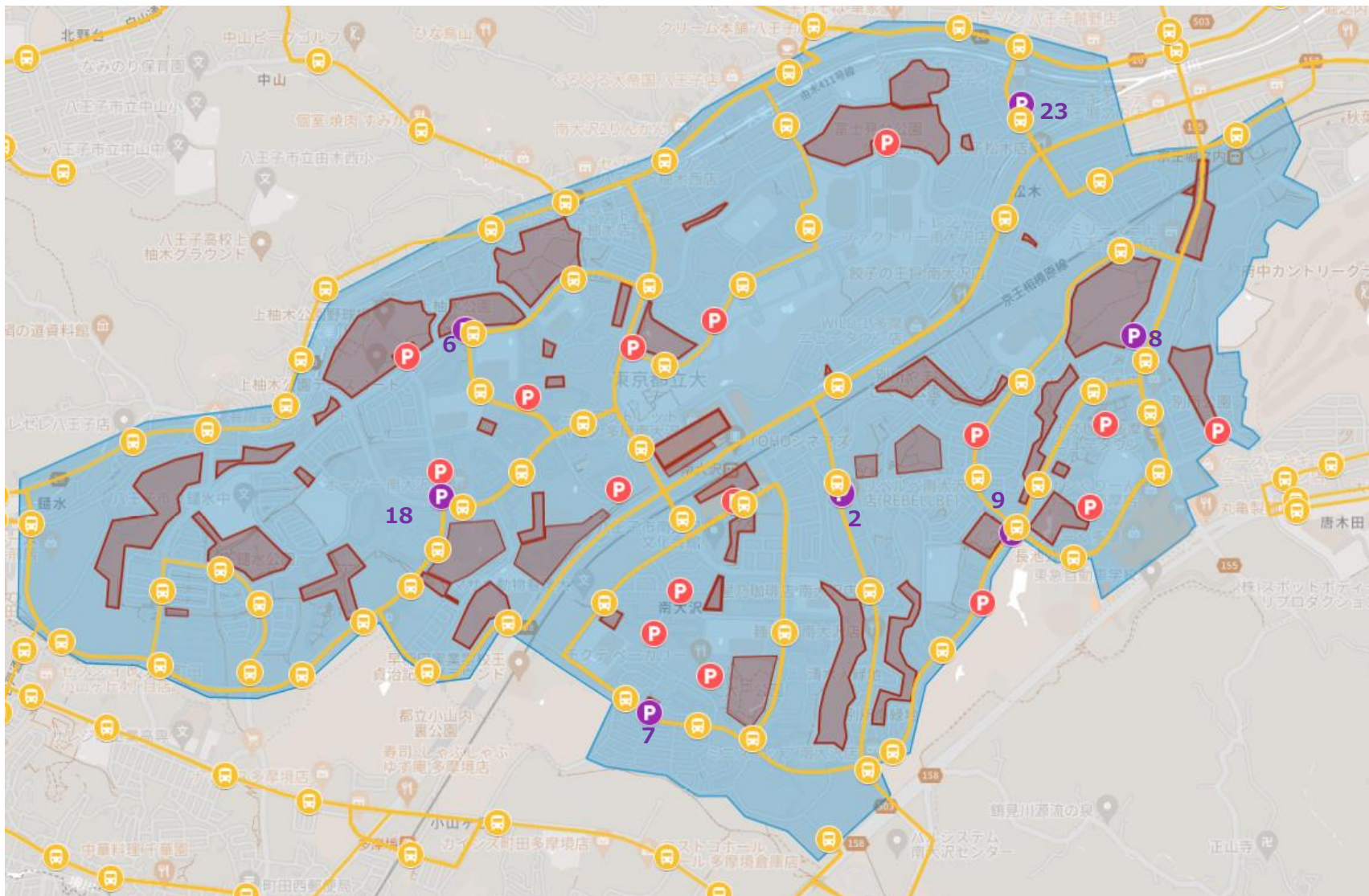
2月15日現在、稼働中の駐車ポート一覧

1. ガレリア・ユギ
2. LinNa HEALTHY LIFESTYLE
3. 柳沢の池公園
4. 富士見台公園
5. 上柚木公園 児童遊園
6. 上柚木公園 板の木歩道橋
7. 九反甫公園
8. 蓮生寺公園
9. 松木公園
10. 別所公園
11. 長池公園
12. コーシャハイム南大沢第二
13. コーシャハイム下柚木三丁目住宅
14. トミンハイム上柚木
15. コーシャハイム南大沢
16. 多摩ニュータウン 長池公園せせらぎ通り北
17. 多摩ニュータウン 長池公園せせらぎ通り南
18. グランピア南大沢
19. ビューコート別所
20. ヘルコリーヌ南大沢
21. 南大沢学園二番街
22. シティハイツ南大沢
23. グリーンギャラリーガーデンズ

※今後の設置予定ポート
 都営住宅5カ所 (2月22日稼働開始)
 民間施設3カ所 (3月稼働開始予定)



(参考) ユーザー・ライド分析 (バス路線入りポートマップ)



● : バス停近接ポート

- 2. LinNa HEALTHY LIFESTYLE
- 6.上柚木公園 柵の木歩道橋
- 7. 九反甫公園
- 8. 蓮正寺公園
- 9. 松木公園
- 18. グランピア南大沢
- 23. グリーンギャラリーガーデンズ

定期報告内容

● ユーザー・ライド分析

- アクティブユーザー数
- 総ライド数
- 平均ライド数
- ライド総数
- 時間帯別ライド数
- ライド時間別ライド数

● ポート発着数

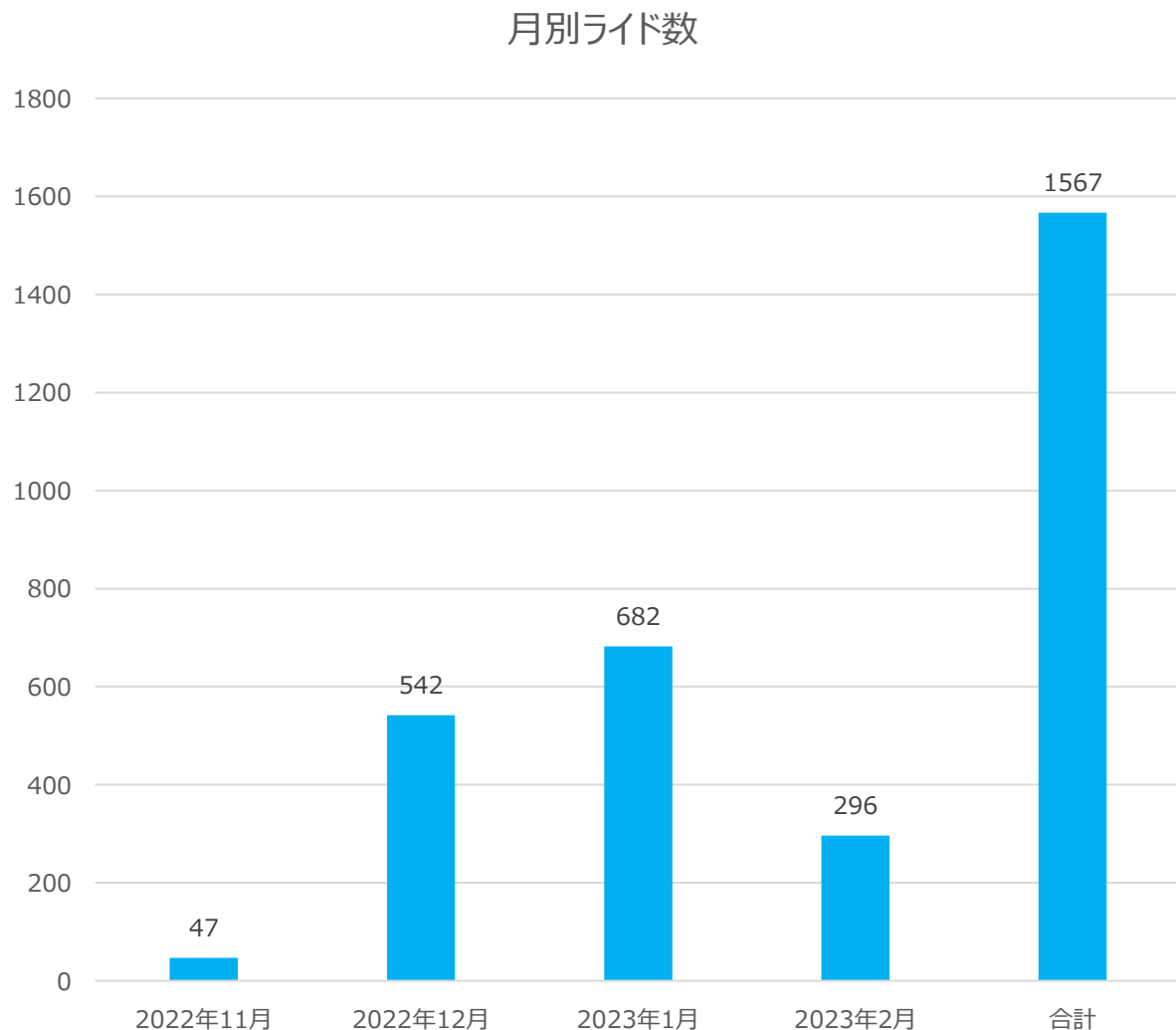
- 総発着回数
- 時間帯ごと発着回数

● 試乗会アンケート結果

- 試乗人数
- アンケート回答人数
- サービス認知度
- サービス利用度

ユーザー・ライド分析 (月別ライド数)

11月25日-2月15日までの総ライド数は1567回

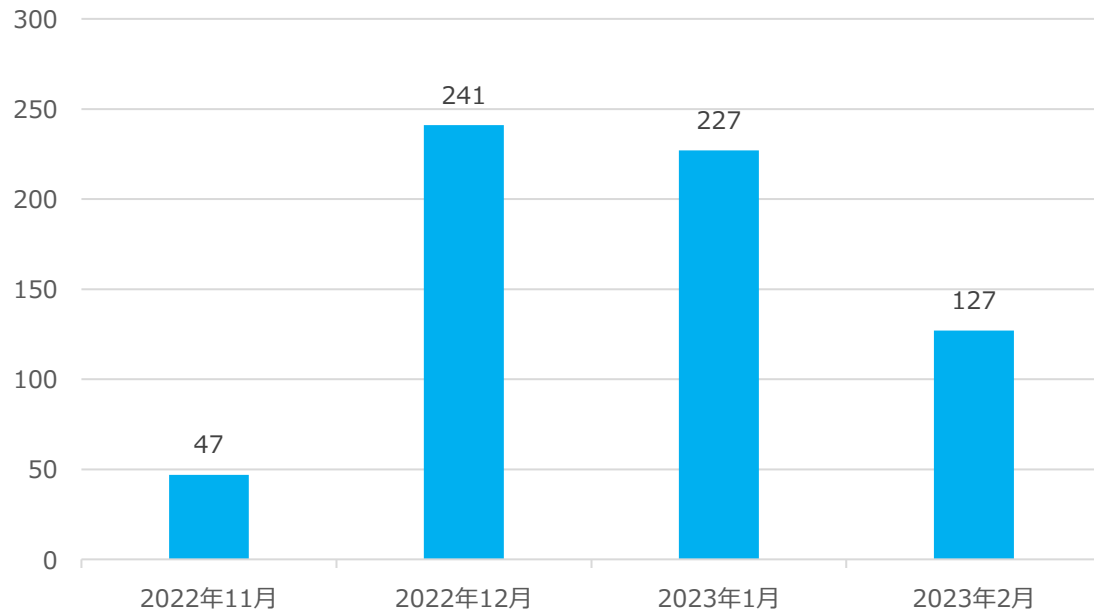


ユーザー分析 (アクティブユーザー数)

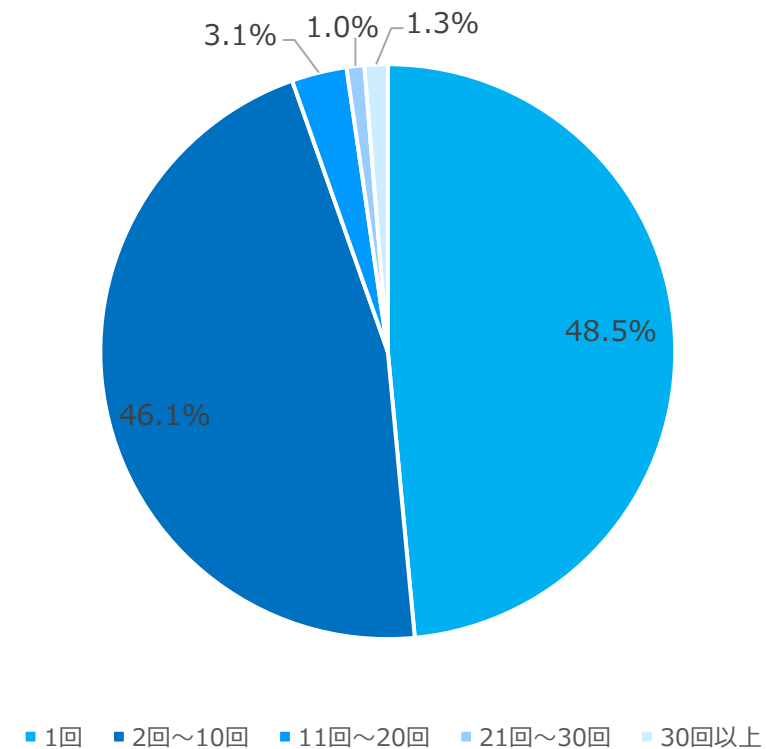
アクティブユーザー数は、11月：29人、12月：241人、23年1月：227人、23年2月：127人

51.4%のユーザーが2回以上ライドしており、平均ライド数は3.26回

アクティブユーザー数



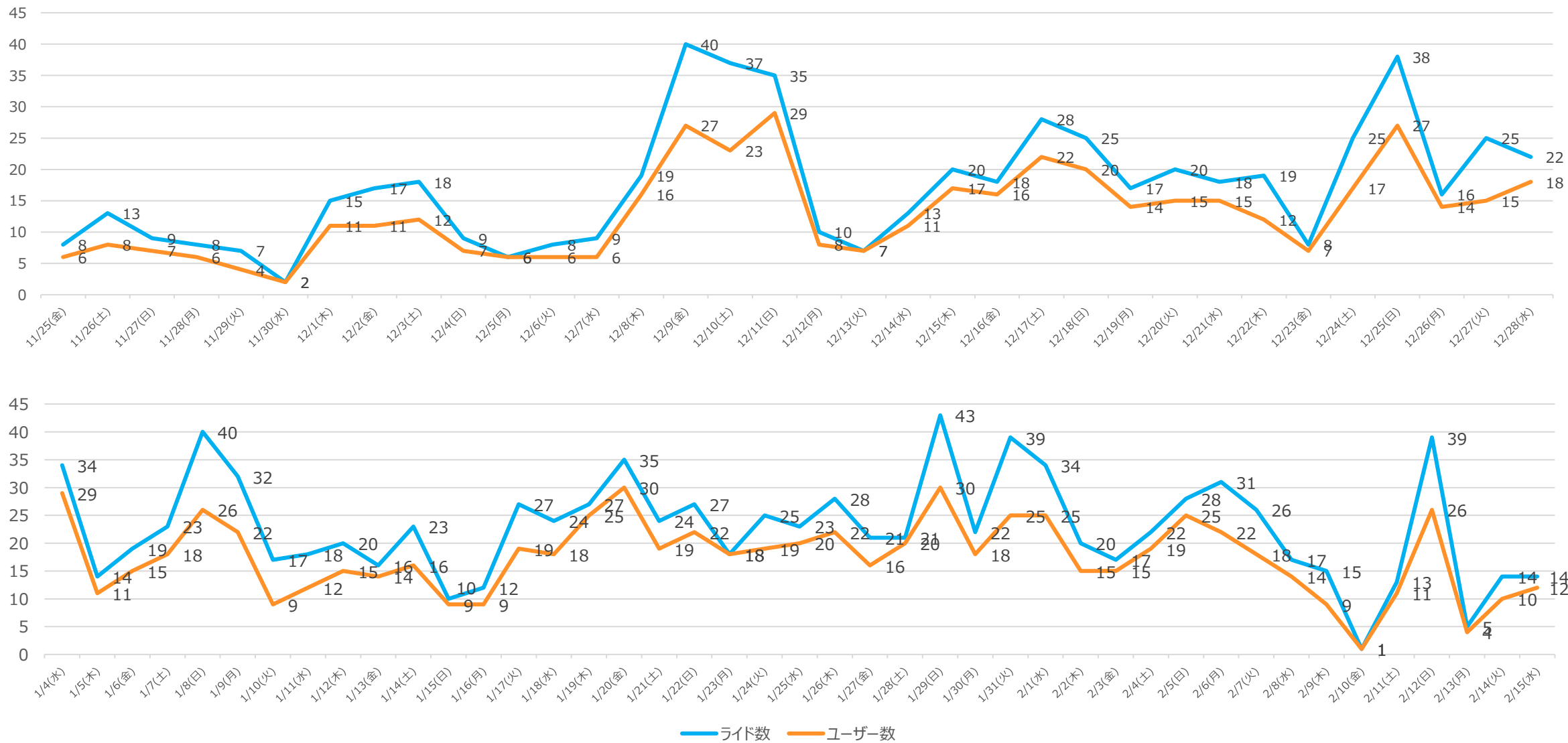
1ユーザーあたりのライド数



3.実証の効果検証の状況

ユーザー・ライド分析 (日別ライド数)

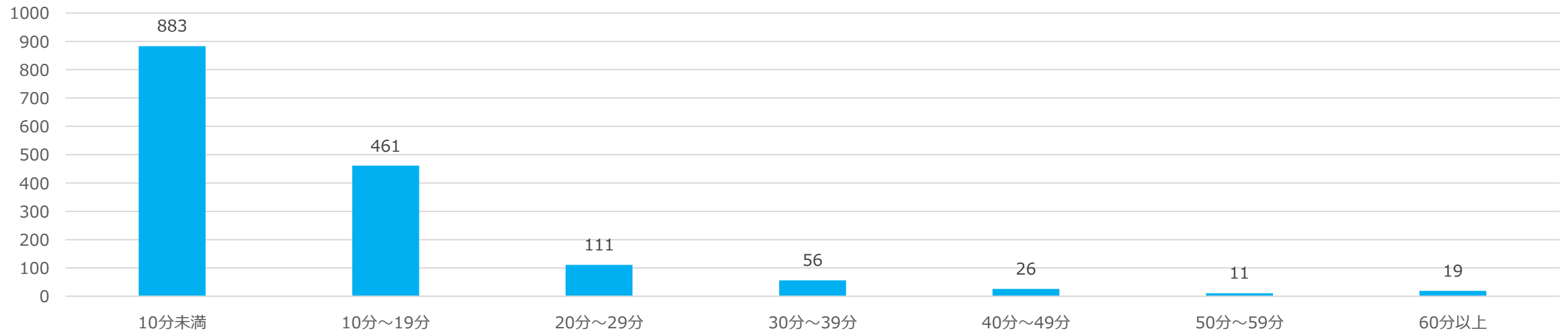
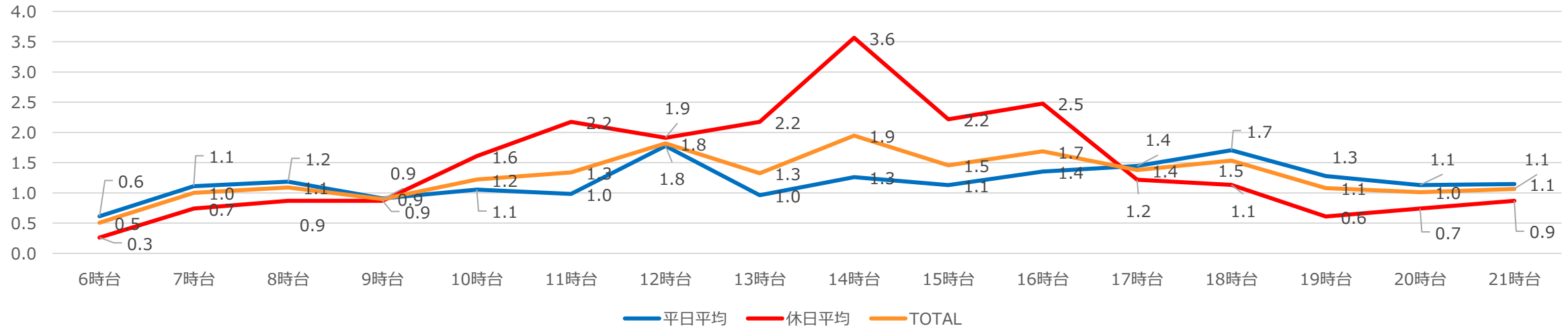
ライド数は横ばいの状況 ※2月10日(金)は、積雪を確認後、貸出を停止した



ユーザー・ライド分析 (時間帯別ライド数/ライド時間別ライド数)

平日のライド開始時間帯のピークは12時台と18時台、休日のピークは14時台

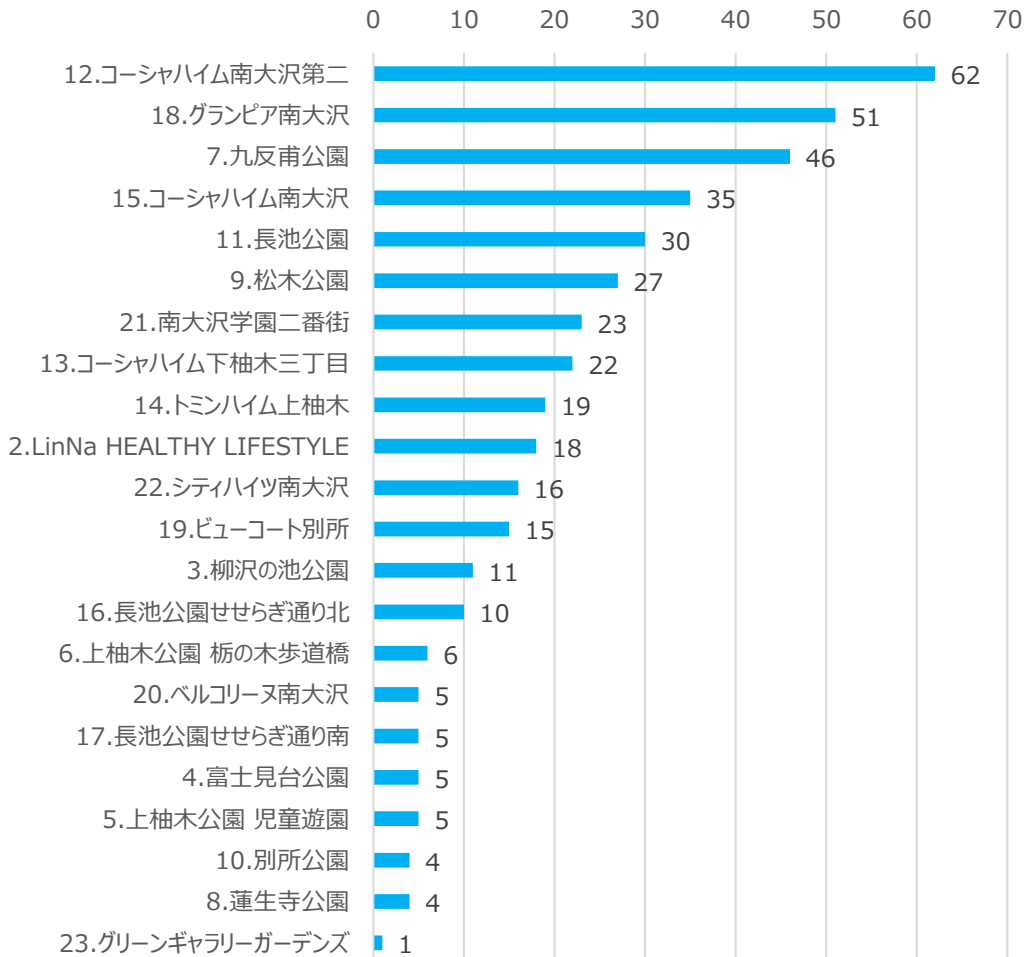
20分以内のライドが全体の8割強を占めている状況



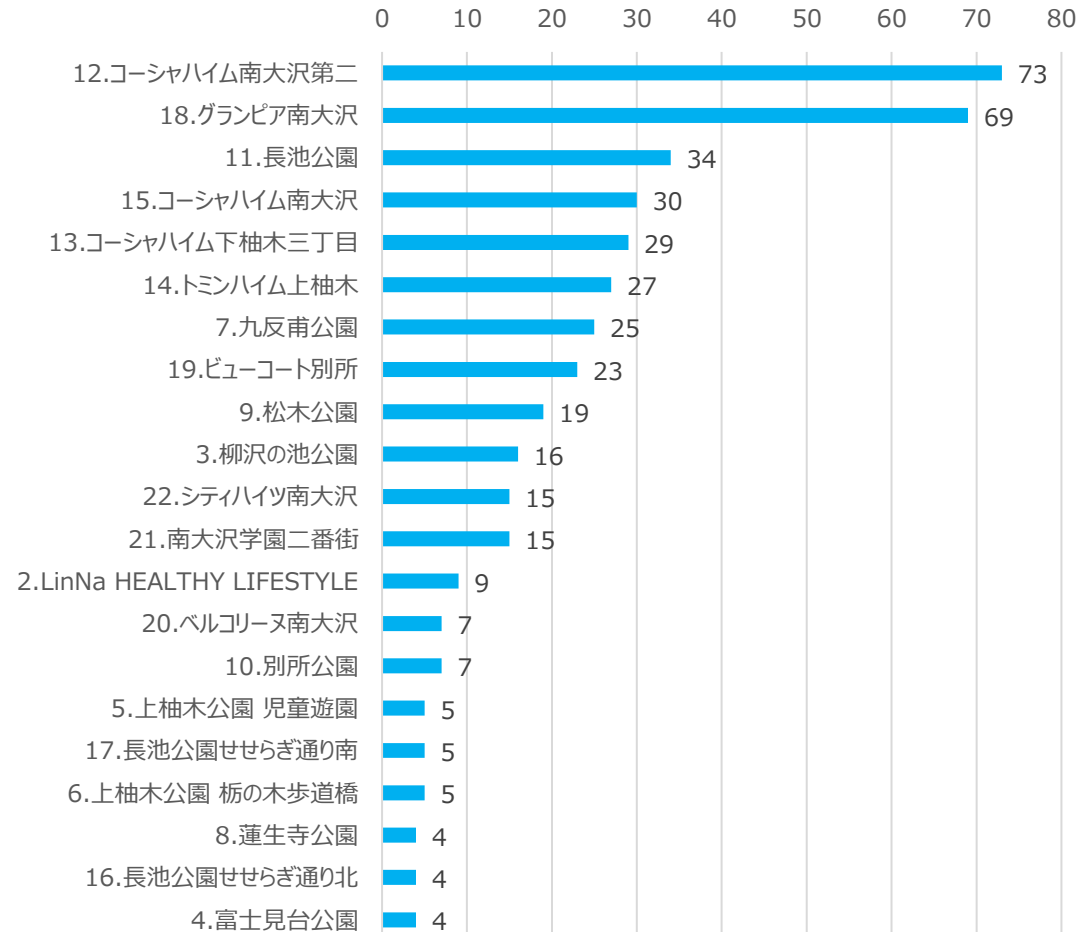
ユーザー・ライド分析 (ガレリアユギをハブとした起終点ポートランキング)

バス路線のないコーシャハイム南大沢第2、コーシャハイム南大沢やバスルートが迂回する長池公園が上位

ガレリア・ユギが起点の終点ポートランキング

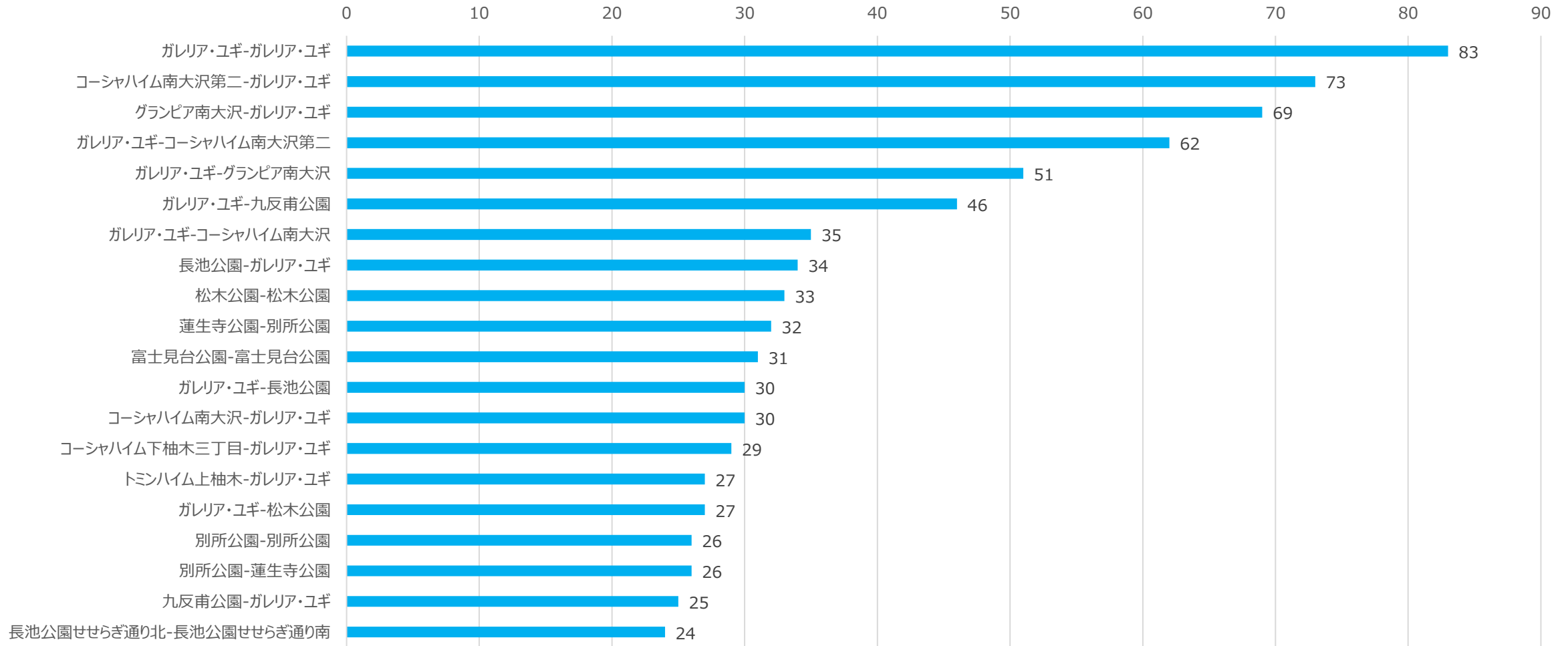


ガレリア・ユギが終点の起点ポートランキング



ユーザー・ライド分析 (ルートランキングTOP20※全期間)

ガレリア・ユギを終点とし、上柚木3丁目・南大沢4丁目のポートからのライドが上位3位を占めている



2月試乗会アンケート結果

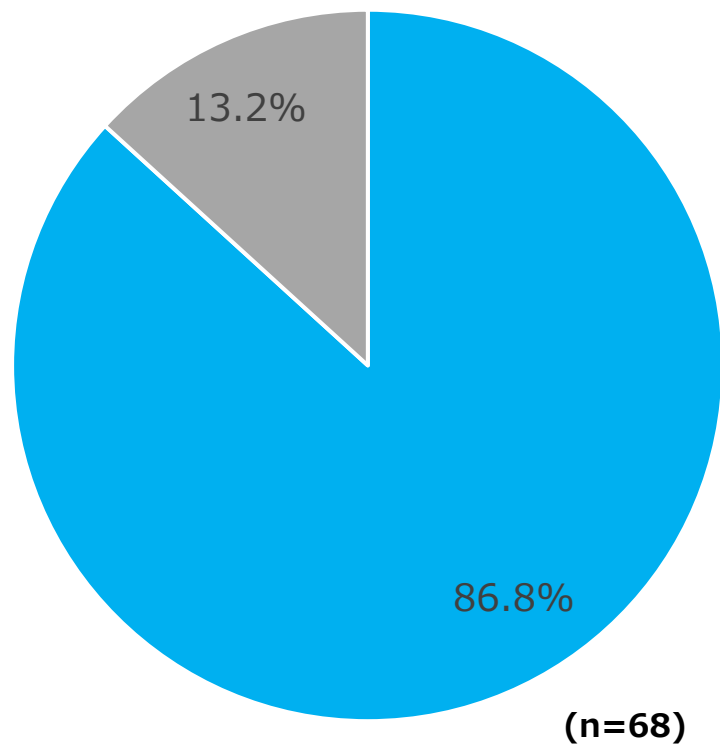
項目		11・12月	1月	2月	3月
のべ試乗人数		93	-	81	-
のべアンケート回答人数		91	-	73	-
	男性	68	-	44	-
	女性	25	-	29	-
	南大沢地域在住	36	-	30	-
	地域外	55	-	43	-
サービス認知度	全体	47.3%	-	55.60%	-
	南大沢地域在住			66.7%	
サービス利用度	全体	4.3%	-	2.8%	-
	南大沢地域在住			6.7%	

3.実証の効果検証の状況

利用意向 (SA)

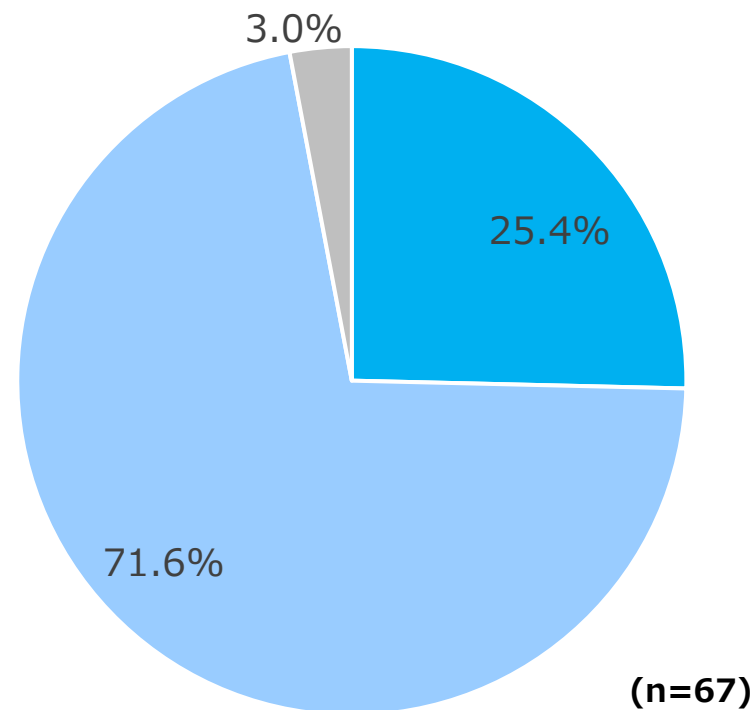
9割近くの方が電動キックボードシェアリングサービスを利用してみたいと回答、
ポート密度が上がった場合も9割強が利用頻度が増えると回答

電動キックボードシェアリングサービスを利用してみたいです (SA)



■ はい ■ いいえ

身近な場所や地域全体にポートが増えた場合、
利用する頻度は増えますか？ (SA)

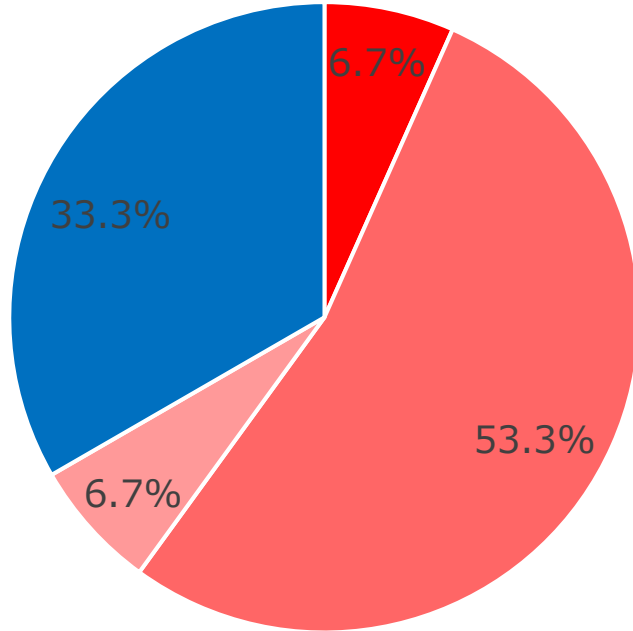


■ とても増える ■ 多少増える ■ 変わらない

サービスの利用経験・認知度 (SA)

南大沢周辺居住者においては、約7割がサービスを認知している状況

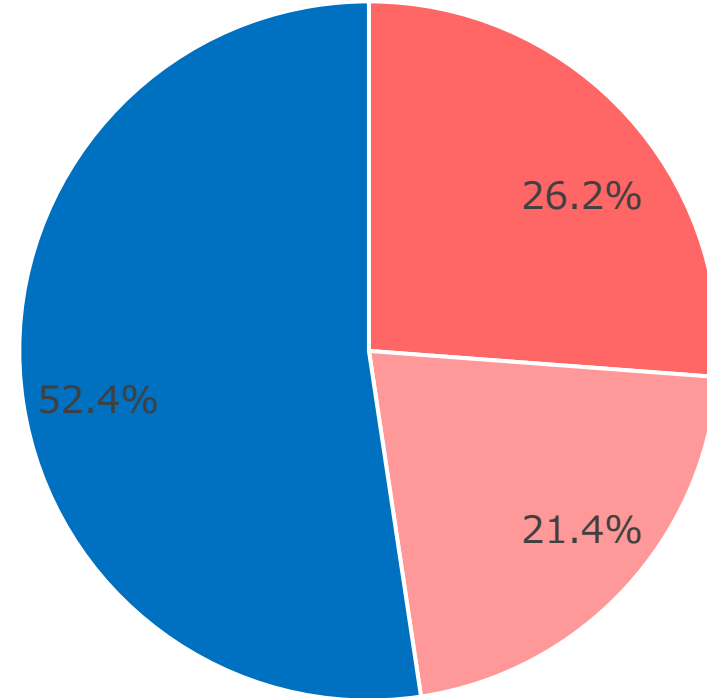
南大沢周辺居住者



(n=30)

- よく利用している
- 利用したことはないが、どんなサービスかは知っている
- 名前は聞いたことがある
- 知らなかった

その他のエリア居住者



(n=42)

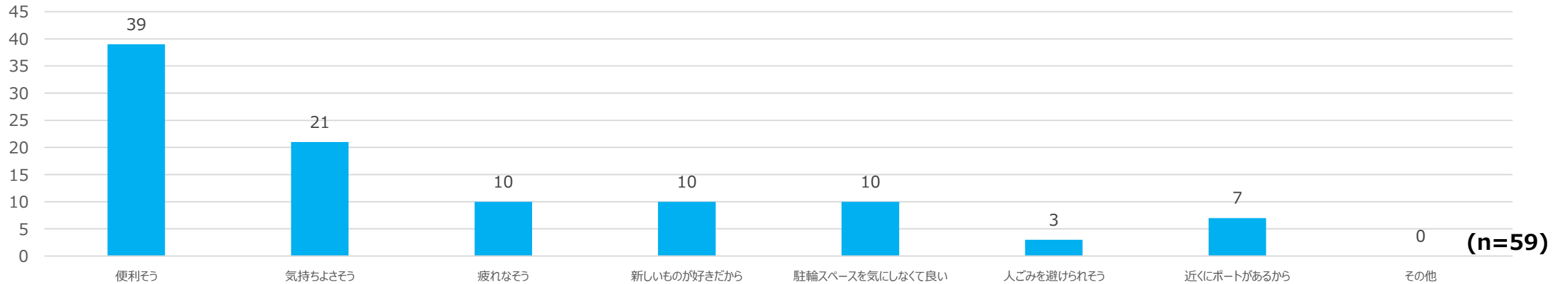
- よく利用している
- 利用したことはないが、どんなサービスかは知っている
- 名前は聞いたことがある
- 知らなかった

利用してみたい/したくないと思う理由 (MA)

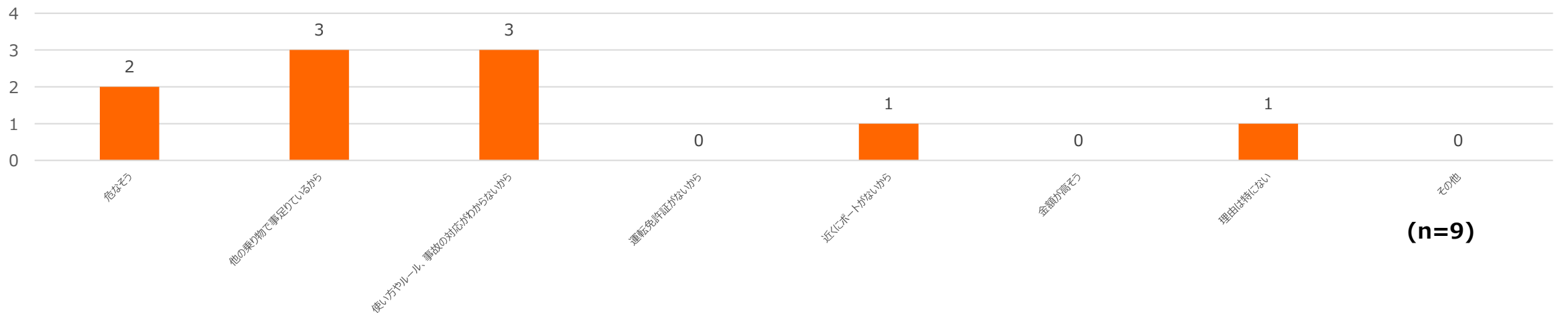
利用してみたい理由は、「便利そう」や「気持ちよさそう」が上位

利用したくない理由は、「他の乗り物で事足りているから」・「使い方やルール、事故対応がわからないから」が上位

利用してみたい理由



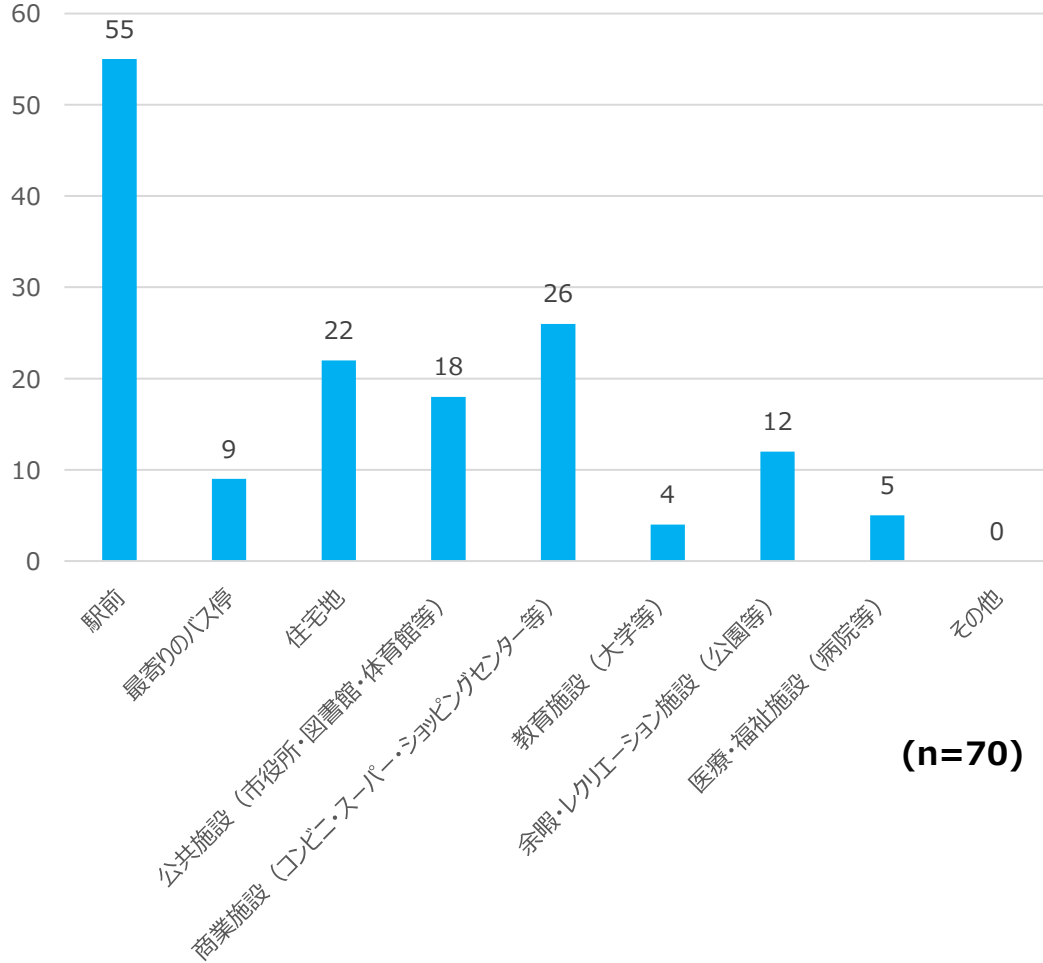
利用したくない理由



3.実証の効果検証の状況

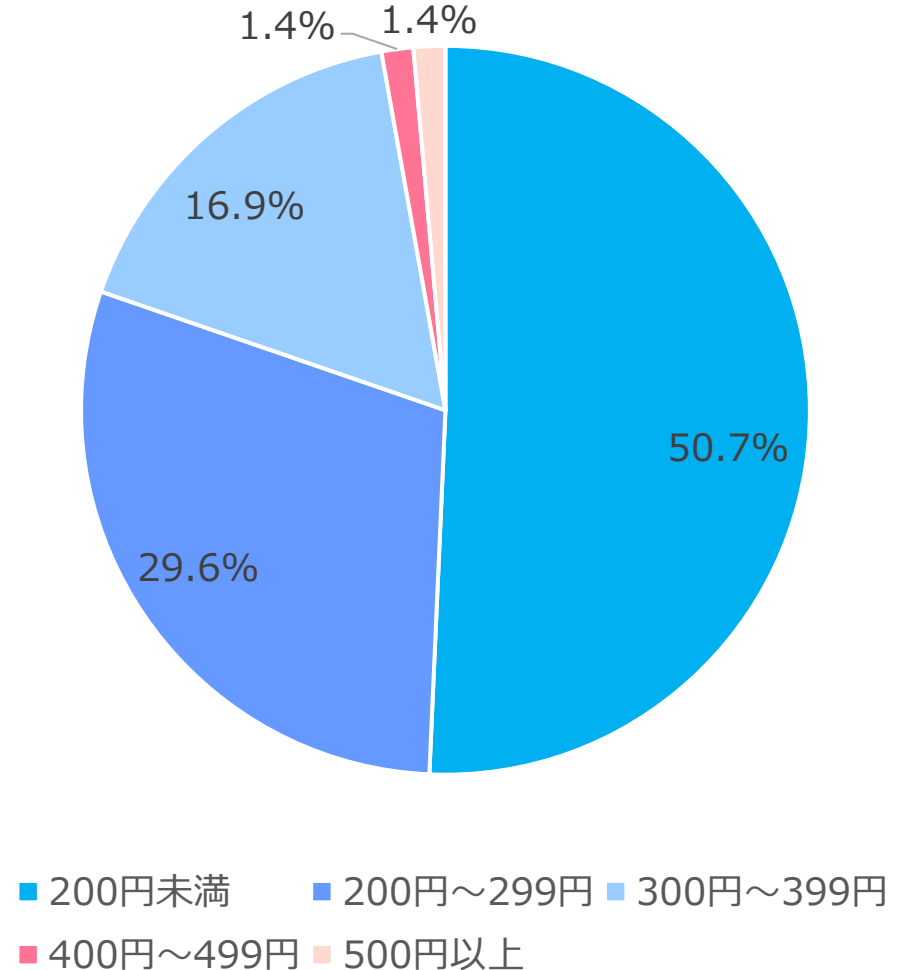
便利と感じるポートのロケーション(MA)

便利と感じるポートのロケーションは「駅前」が1位、
次いで「住宅地」・「公共施設」・「商業施設」が上位



日常的に利用する場合の金額感(SA) ※15~20分(2~3km)の移動想定

日常的に利用する場合の金額としては、300円未満が全体の8割を占める



3.実証の効果検証の状況

デジタルサイネージの設置状況

駅前エリア、団地エリアの各施設に筐体を設置済。



設置場所	台数見込み	筐体サイズ
<ul style="list-style-type: none"> パオレ南大沢（4階エントランス）とギャラリー・ユギ（1階入口）に設置 	2台	LL (大型)
<ul style="list-style-type: none"> トミンハイム南大沢（4台）とコーシャハイム下柚木（5台）の2団地に設置 	9台	S10 (小型)
<ul style="list-style-type: none"> フレンテ南大沢の5階・2階に設置 	2台	LL (大型)
<ul style="list-style-type: none"> A街区の1階と2階にそれぞれ1台設置 	2台	LL (大型)
<ul style="list-style-type: none"> 都立大図書館（入口）、学生ホール（生協店舗前） 	2台	S10 (小型)
<ul style="list-style-type: none"> 団地内に2台とフレンテ南大沢内の賃貸ショップに3台を設置 	5台	S10が2台 S5が3台

放映コンテンツ

行政情報、防災情報、地域のイベント・コミュニティに関する情報、商業施設のイベント情報を放映

行政情報に関するコンテンツ例

ワクチン接種



HTTポスター

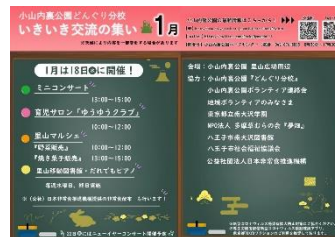


スムーズビズ



南大沢地域のイベント・コミュニティに関するコンテンツ例

いきいき交流の集い



地震体験会



平日ちよこつと観察会



防災情報に関するコンテンツ例

地下への浸水 (全体編)



地下への浸水 (行動編)



防災セミナー



商業施設でのイベント・セールに関するコンテンツ例

ビアホール



キャッシュレス



駐車場優待



※筐体の場所毎の放映コンテンツについては参考資料を参照

効果検証概要（デジタルサイネージ）

地域の生活情報等を住民や買い物客らの導線上に設置したデジタルサイネージから提供することによる利便性の向上や商業施設の集客・回遊性向上を検証

When Where	日程・場所	2023/1以降、①団地エリア、②都立大エリア、③駅前エリアにて実施
Why	目的	①デジタルサイネージを用いた各種情報の効果的な提供を通じた地域課題解決に関する検証、 ②災害時の情報/電源供給の有効性に関する検証
Who	被験者	南大沢エリアの住民、都立大学学生、商業施設利用者（住民/エリア外からの来訪者）
What 評価	利便性	住民や商業施設利用者のそれぞれに必要な情報を提供出来ていたか？ バッテリーの貸し出しや防災情報等の付加価値を提供出来ていたか？
	地域適合性	地域での生活に求められる情報を提供出来ていたか？ 対象者への効果的な情報発信の在り方における示唆が得られたか？
	持続可能性	サービス維持・拡大のコストや、収益はバランスしているか？
How 検証方法	利便性	・ アンケート・ヒアリング調査：利便性・提供情報に関する確認
	地域適合性	・ アンケート・ヒアリング調査：提供された情報に関する確認
	持続可能性	・ サービスプラットフォームからのデータ収集：バッテリーの貸し出し状況 ・ アンケート・ヒアリング調査広告掲出のニーズ有無の確認

持続可能性とりわけビジネスとしての継続余地については、筐体の設置先（施設管理者）へ個別にニーズやデジタルサイネージへのコンテンツ掲出を有料化した場合の価格設定などについて、アンケートとは別に、ヒアリングを予定

3.実証の効果検証の状況

(参考) デジタルサイネージのアンケート・ヒアリング結果

地域住民等の閲覧者、筐体の設置先となる事業者に対しデジタルサイネージに関するアンケート・ヒアリングを実証中。
引き続き検証を進める

良かった点

- 他の街（吉祥寺）を訪れた際にサイネージの情報を見て、その内容が気になってデパートに入ったことがある。南大沢でも実施すると効果がある場合があると思う。（閲覧者）
- 行政情報などの従来であれば自らHPへアクセスしたり広報誌などに目を通さないと触れられない情報が、生活動線（駅前や団地のエレベーターホール等）に設置された筐体にふと目を落とすことで得られるのが良い（閲覧者）
- 紙のポスターとは違い、張替の手間が無いのはいいと思った。（閲覧者）
- スマートフォンの充電がなくなりそうなときに充電器があるとありがたく、その際広告があると見てしまう人もいると思う。（閲覧者）
- 事業者・団体の情報を掲出する手段（チャンネル）が増えることは自社にとってもメリットがあるし、南大沢エリアの活性化にもつながると思われる。（事業者）

改善点

《コンテンツの内容に関して》

- 概ね毎週、南大沢駅前で行くイベントをしていることから、そうしたイベント情報を掲出するのがよいのではないか。（閲覧者）
- 商業施設の情報、終電情報、天気に関する情報があると生活はより便利になると思う。なお、都立大では終電をモニターに流すサークルがあった。（閲覧者）
- サイネージは一定間隔で変化するので、コンテンツによっては、表示されている情報の全てを読み取る前に別のコンテンツに代わってしまう場合があった。（閲覧者）
- 今回は実証事業との位置付けを踏まえ、団地エリアの筐体で特定の商業施設に関するコンテンツ（セールやイベント情報）の掲出は行っていない。今後、事業者としてデジタルサイネージの価値を高めるのであれば、例えば団地エリアの筐体に駅前商業施設の情報を掲出することで住民にイベントやセール情報を認識頂き、商業施設等に足を運んでいただけるとよいのではないか。（事業者）
- 引き続き住民や学生、来訪者のニーズを踏まえ、デジタルサイネージに適したコンテンツの発掘・提供が必要ではないか。（事業者・閲覧者）

《筐体の設置場所・認知に関して》

- 病院や行列ができる店舗など、順番を待っている人がいる場所に筐体を設置した方がより閲覧してもらえるのではないか。（閲覧者）
- 筐体に気づきにくい。設置場所を見直したほうが良いのではないか。（閲覧者）

ビーコン等を利用した効果検証の進め方

ヒアリング・アンケートに加えビーコン情報を用いた検証も実施予定

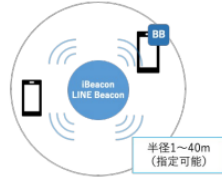
ビーコン・GPSを用いた検証概要（案）

デジタルサイネージの筐体に搭載したビーコンを用いた定量分析も実施予定

- 既存事業者の分析サービスを利用。特定のスマートフォンアプリをインストールしている方のうち、位置情報等の情報提供に合意している方を対象に、ビーコン・GPS位置情報等を収集・分析

●ビーコン反応の仕組み

ビーコンは無線電波 (Bluetooth) を一方通行で発信



POINT

端末固有のID情報を発信。しかし、ビーコン自身はサーバーと通信せず、周辺スマホの情報を勝手に収集することはありません

スマホアプリが電波をキャッチ



POINT

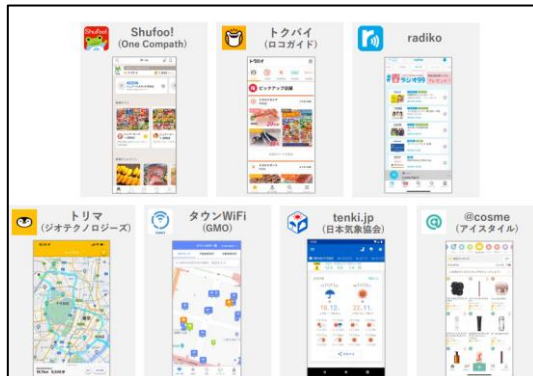
ビーコン電波をキャッチするには、受信用のアプリが必要。unerryはSDK (アプリケーション開発キット) を提供し、連携アプリでユーザー許諾を得て受信

サーバーにビーコン反応を記録



POINT

反応のあった時間と「Beacon Bank」に保有しているビーコンの場所情報から、アプリユーザーがいつ、どこにいたかがわかります



✓ 左記に示すアプリのほか、会員証アプリ、イベントアプリ、銀行・カード系アプリ、防災アプリなど120アプリが対応

※本頁で示す検証は現時点での想定であり、各デジタルサイネージ筐体のビーコン機能の利用開始タイミング等により変更の可能性はある

検証方法の例

筐体付近を通る人の理解（属性等）

ビーコンやGPSにより、筐体周辺の通行者の性別や年代、居住地や嗜好性を可視化し、通行者の理解を促進

期間の比較

イベント案内など特定の行動を促すコンテンツについて、サイネージを掲出していない期間の人流と、掲出している期間の人流を比較し、特定の行動（例：デジタルサイネージで掲出したイベントに向かった）に出たかどうかを比較

3.実証の効果検証の状況

効果検証概要（ARナビ）

利用者の属性に応じた容易・安全な移動の実現ならびに従来の地図・ナビと比較した優位性・課題を検証すべく、利便性・地域適合性・持続可能性の3つの観点から実証事業を検証する

When Where	日程・場所	2022年11月後半～2023年3月までで複数回 於 南大沢駅前
Why	目的※	ARナビによる体験を通じ、利用者の属性に応じた①容易・安全な移動を実現し、②従来の地図・ナビと比較した優位性・課題も検証 ※将来的には南大沢スマートシティの基本方針である地域資源の最大限活用（ARナビを使って施設や公園等に利用者呼び込み回遊させる）や既存交通の補完（複数の交通手段をわかりやすく表示・ナビする）の実現に向けた活用も視野に入る
Who	被験者	居住者（交通弱者を含む）、通勤・通学者、南大沢駅周辺への来訪者
What 評価	利便性	ARナビの利用が円滑に行えたか？利用に際して何らかの障壁があったか？
	地域適合性	ARナビを利用することで利用者の属性（交通弱者等）に応じて移動が快適になったか？利用に際して安全性が担保されたか？南大沢エリアにおいてARナビを活用するにあたって今後こういった利用シーンやルートが望まれるか？
	持続可能性	サービス維持・拡大のコストや収益はバランスしているか？
How 検証方法	利便性	体験会（後述）を開催し、参加者に対してアンケート・ヒアリング調査を実施 ※体験会以外でARナビを利用した方々へはウェブ上でのアンケート回答を依頼
	地域適合性	
	持続可能性	本項目は事業者・団体とのヒアリング等で確認を予定

※情報に関する基本方針である「多様なサービスを実現するオープンデータの活用」と「サービスの価値を高めるデータ連携」に紐づく施策として実施しているとの認識

ARナビ体験会の模様とヒアリング結果（車椅子利用者）

社会福祉法人にご協力いただき、ARナビの2ルートを実験いただくとともに、アンケート・ヒアリングを実施。概ね満足との声を頂いた

ARナビ体験会の模様



- A) 体験会では車椅子をお使いの方に、実際に南大沢駅からフレスコ南大沢/アウトレットパークまでの2ルートを実際に体験いただいた
- B) 参加者のスマートフォンにアプリをダウンロード頂き、実際に操作頂いている模様
- C) 実際にARナビによるルート案内を実施している画面

参加者の声（主なものを抜粋）

総評

- 『ARナビの有用性を感じた。改善点はあるものの今後、ルートの種類や表示方法、表示される情報が充実していけばよりよいサービスになると思うし、生活の中で利用してみたい』との声を頂き、ARナビは「概ね満足」との回答を得た

良かった点

- 実際の風景に重なる形で矢印が表示されることから、ナビ開始時（初動）に自分がどちらに向かえばいいのか**迷わずに済む**のがよい
- 初めて訪れようとする施設の場合、あらかじめ**施設の設備（エレベーターやトイレなど）を調べてから出かける**場合が多い。一方でARナビでこうした情報が表示されるのであれば、**事前に調べずとも気軽に出かけることができ**よい
- 今回は施設の満空情報が表示されていたが、こうした**施設情報は有用。災害時にも役立つ**と思う
- ARを使ったルート案内は有用だけでなく**面白かった。また使ってみたく**なる

《ARを活用したルート案内に関して》

- 例えば①屋根がある（雨に濡れない）、②エレベーターを利用する、③距離は長くなるが上りの傾斜が少ないなど、様々なルートを出し分けられるとよい

《スマートフォンを用いる利用形態について》

- ARナビに集中するが故に、視野が狭くなり道路のちょっとした凹みやゴミに気づかず進んでしまう可能性もあるので**注意**したい
- スマートフォンを**持ち続けるのは大変**。今後ARグラスのようなデバイスがあると使い勝手がよくなると感じる

《今回の実証向けアプリの機能や使い勝手について》

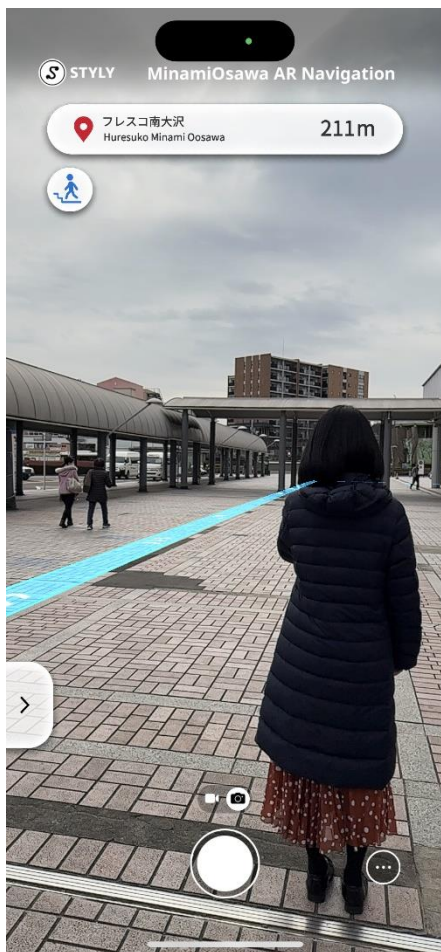
- 目的地までの距離に加え、行程のうち**自分がいまどこにいるかわかる**とよい
- 文字を大きくして、かつ音声案内**があるとよい
- 車椅子を利用している場合、青い道筋を見失った際に「**その場で振り向く**」等の行為が**難しい人も**いらっしゃる

改善点

ARナビ体験会の模様とヒアリング結果（歩行者）

歩行者向けにARナビ体験会を開催。ARナビの2ルートを実験いただくとともに、アンケート・ヒアリングを実施。行動範囲の広がりや建物設備情報の提供について有用であるとの声をいただいた

ARナビ体験会の様子模様



体験会では、実際に南大沢駅からフレスコ南大沢/アウトレットパークまでの2ルートを実際に体験いただいた

参加者の声（主なものを抜粋）

総評

- 「ARナビがあると**行動範囲が広がる、満空情報などの情報表示は価値的ではないか**」との声を頂いた。

良かった点

- 画面が**見やすくわかりやすい**。
- 地図を読み解くのは苦手なので、地図を見なくても目的地まで**迷わずに到達できる**のがよい
- 混雑情報が表示されるのはよい**。今後、店舗情報や混雑情報が詳細にあるとよりよい。また、ベビーカー利用時には**エレベーターの混雑予測**があると施設をより快適に利用できる。
- 初めて訪れようとする施設の場合、ARナビがあると**来訪に対する心理的ハードルは下がる**。

改善点

《今回の実証向けアプリの機能や使い勝手について》

- 通信量やバッテリー残量が気になる**。通信量やバッテリーへの負荷が低いアプリだとより良い。
- Google Mapと連携**することでより利用されるのではないかと。
- ARナビ上の施設名をタップすると、現在地からの案内が開始される機能があるとよい。
- スマートフォンでの利用は、**画面に集中するため移動の安全性は下がる**。ARグラスのようなデバイスで体験すると改善されると考えられる。
- リアルタイムで凹凸を認識しルートを構築**することで、災害時の利用ができるのではないかと。

《ARの利活用が見込まれる利用シーンやイベントについて》

- 南大沢は迷わないので、**道案内よりも施設混雑情報・店舗情報等の表示やプロジェクトマッピングなどのエンタメ**を実施するほうが価値的ではないかと感じた。（なお、新宿等は迷うのでナビがあるとありがたい）

本年度実証内容におけるデータ分析について

データ取得可能なものについてデータを取得し、検証を活用する

アプリの利用を通じて取得が見込まれる主な定量データ

2月20日(月)時点の集計
※速報値のため今後数値が変更になる可能性あり

シーンの
ダウンロード数

専用のQRコードからダウンロードしてもらった場合については計測が可能

91ダウンロード

シーンの利用回数

今回準備するARナビのルート(該当シーン)の再生回数取得することで、どれだけの回数、当該のルート向けナビを利用したかを計測が可能

94回

目的まで到達した/
途中離脱した数

ルートナビ(該当シーン)の体験開始～終了までの時刻を取得することで目的地まで到達したかを類推は可能
途中離脱したか否かはアプリでの取得が現時点では困難

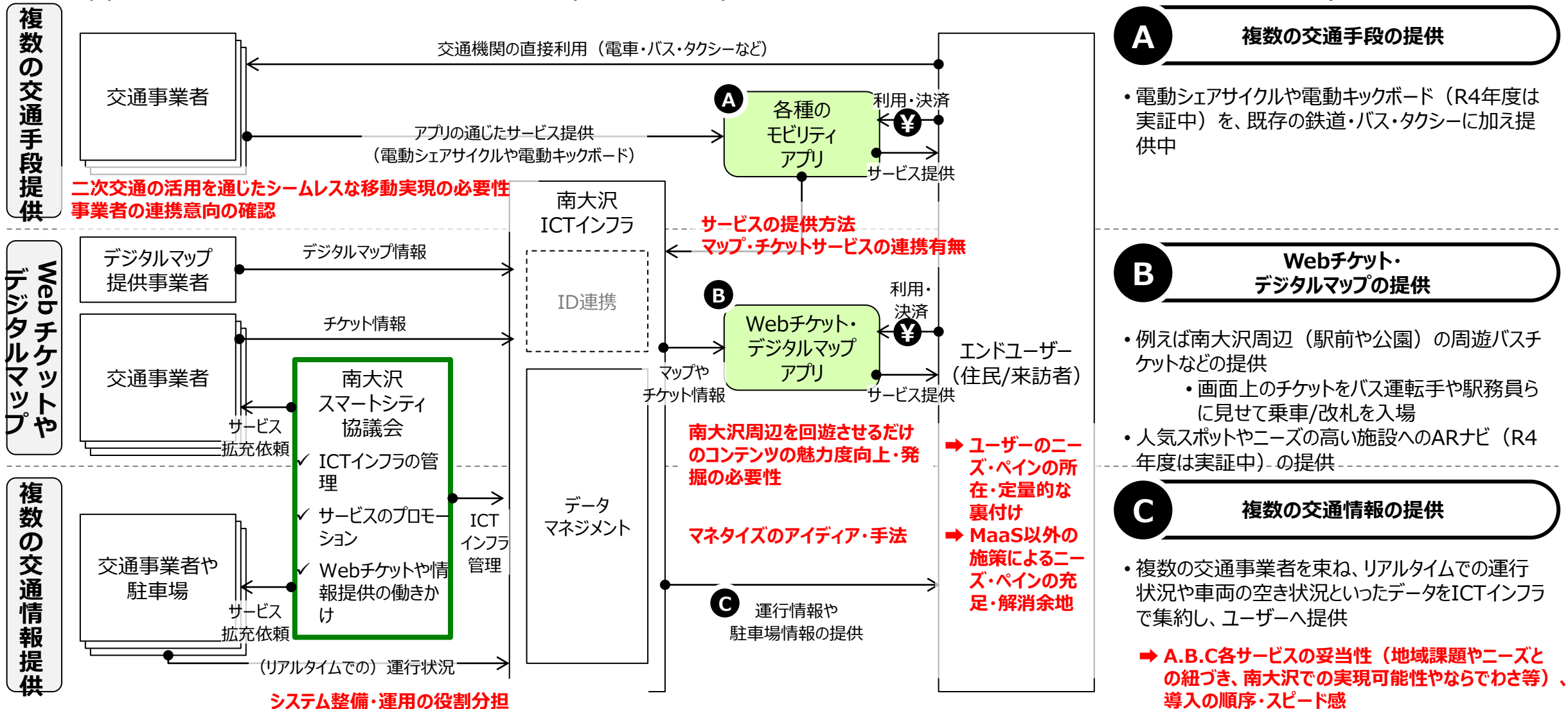
約65%(61回/94回)

※バックグラウンド起動時間も含め、シーン開始後4分以上アプリを利用していると考えられる場合を目的到達数としてカウント

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージ① ～MaaSによる複数の交通情報・手段の提供施策～

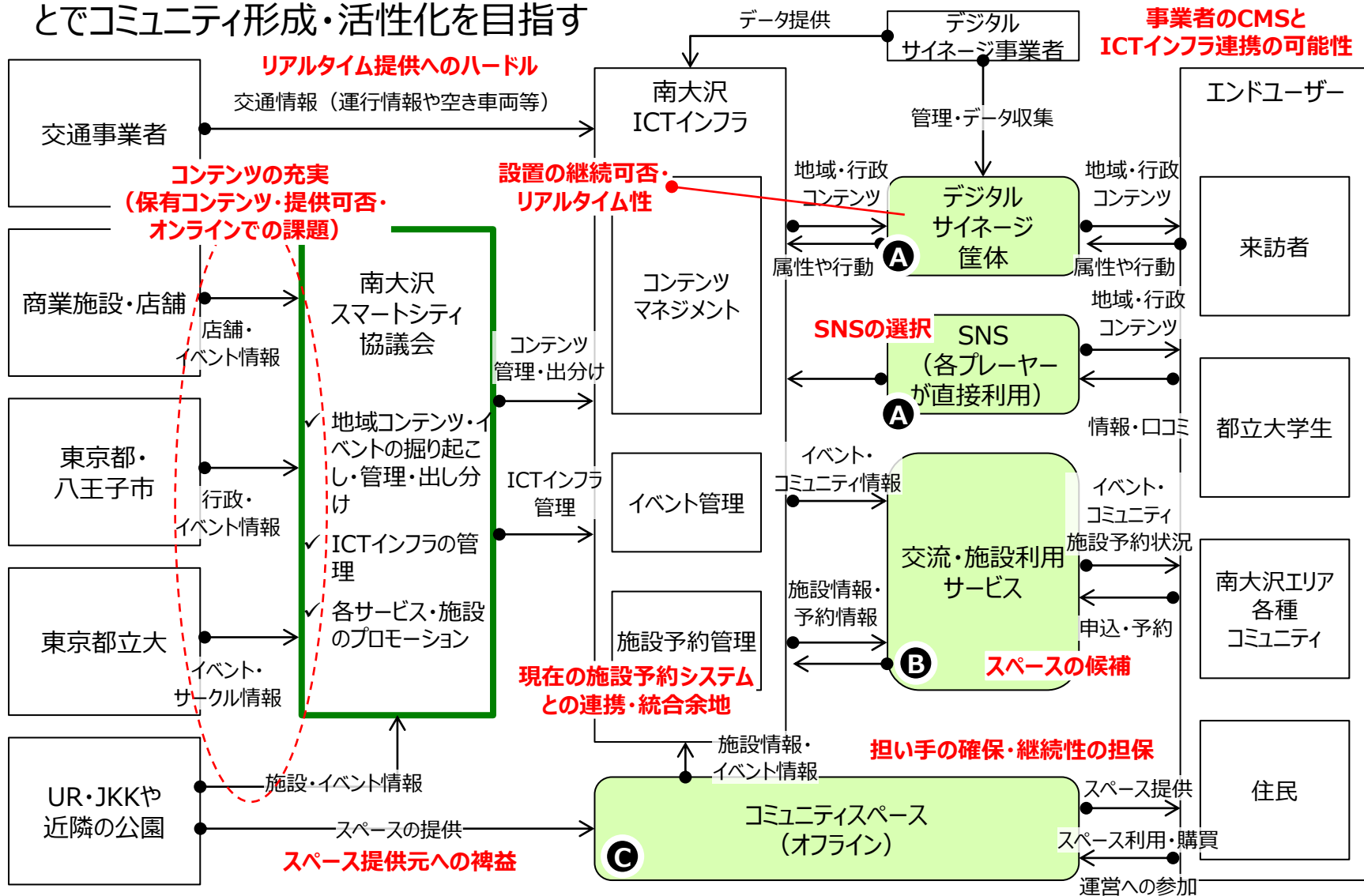
既に「複数の交通手段提供」は実現しつつあり、今後はWebチケットやデジタルマップ（ARナビ）の恒常的な提供を通じた交通課題の解消を目指す（複数の交通情報提供は事業者との調整などで一定のリードタイムがかかる想定）



4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージ② ～オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成～

オンラインを活用した情報発信にとどまらず、コミュニティの形成・活性化の仕組みをオンライン・オフライン双方で提供していくことでコミュニティ形成・活性化を目指す



A デジタルサイネージやSNSによるコンテンツ提供

- 地域のイベントや商業施設・店舗・公園、生活情報等に関する情報をデジタルサイネージで提供
- SNSを通じて南大沢エリアの事業者・団体が情報発信

B 交流・施設利用機能の提供

- 地域のコミュニティや大学のサークル、各種イベントやメンバー募集の情報を集約・提供
- 施設（体育館や集会所等）の施設予約機能を提供
- 例えば地域のスポーツサークルと都立大のサークルによる交流会などの開催を促す

C コミュニティスペースの提供

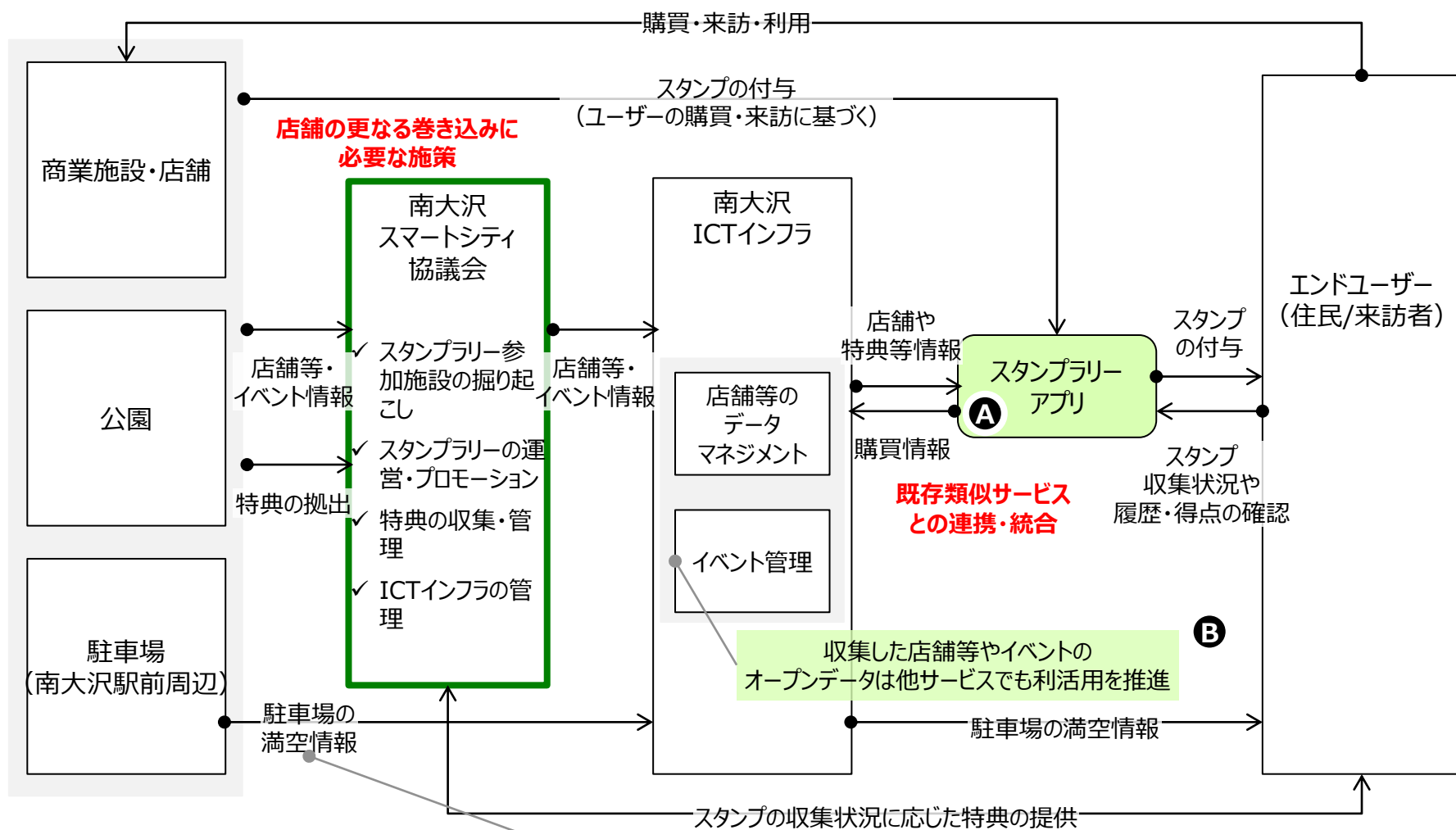
- 例えば団地内にカフェや多目的スペースを設け、住民や学生が利用者にとどまらず、運営側に参加しながらコミュニティを形成・活性化

➔ A.B.C各サービスの妥当性（地域課題やニーズとの紐づき、南大沢での実現可能性やならでわさ等）、導入の順序・スピード感

4. 社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージ③ ～地域ポイントによる回遊性向上施策～

まずはスタンプラリーのサービスを恒常的に行うことで回遊性向上を目指す



A

まずはスタンプラリー形式でサービス提供

- 地域ポイントの実現にはその原資の獲得や仕組み・システムづくりに相応のリードタイムがかかる
- まずは地域のスタンプラリーおよび特典の提供を柱としたサービスを恒常的に提供することを目指す
 - スタンプラリーの実施を通じて南大沢エリアにおけるユーザーの購買状況を可視化
 - スタンプラリーの拡充と軌を一にして店舗等の情報をICTインフラに蓄積

B

店舗等情報の利活用を推進

- 蓄積された店舗等の情報は他のサービスでも利活用を推進していく (例) デジタルマップ (ARナビ) での店舗等情報の表示など

➔ Aの妥当性 (地域課題やニーズとの紐づき、南大沢での実現可能性やならでわざ等)、導入のスピード感

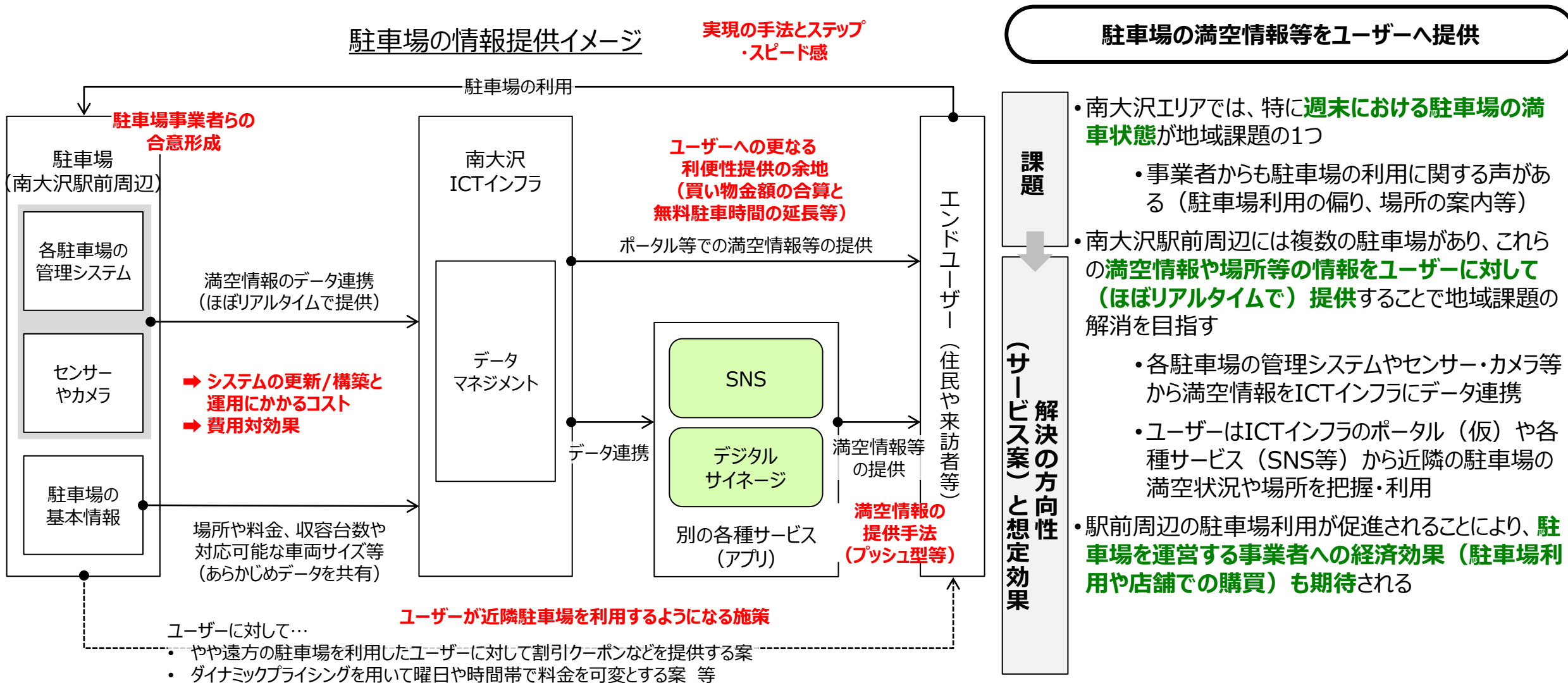
駐車場の満空情報のリアルタイム提供を実現するためには施設管理者との協議と情報共有の仕組み・インフラ整備が必要 ➔次頁で実現イメージを定義

原資の獲得方法・仕組み

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージ④ ～駐車場の満空や場所に関する情報提供サービス～

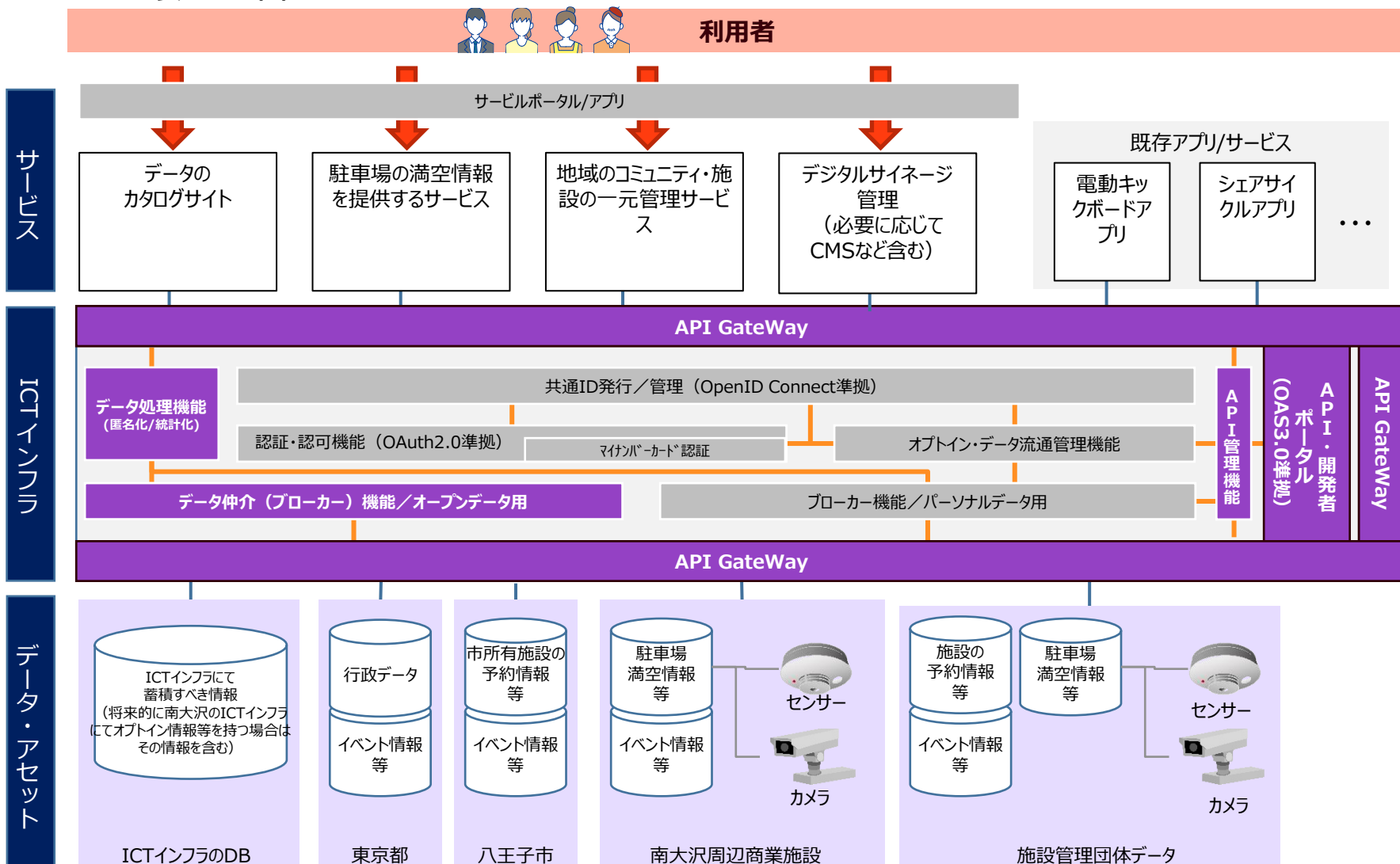
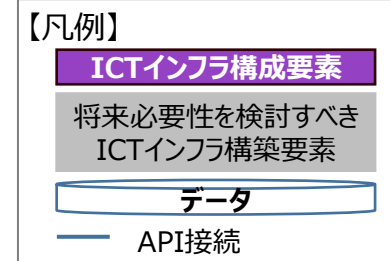
南大沢駅周辺の駐車場における満空情報等をユーザーに提供することで、地域課題の解消や経済効果を実現していく



4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

R5年度時点でのICTインフラの機能全体像（案）

モビリティ部会・まちの賑わい部会で検討しているサービスを踏まえると、R5年度時点ではAPI接続の管理、データ仲介に関する機能が必要になると想定。



B) デジタルサイネージのコンテンツや交流・施設利用データ、駐車場の満空情報等をICTインフラで提供できる機能を構築

A) 各種サービスや外部のデータがICTインフラとデータ連携できる仕組みとしてのAPIの整備

C) 将来的には共通IDやオプトインによるデータマネジメント機能等の実装も目指し、これらも含めた全体像を構想

✓ 1つのIDで様々なサービス・機能が利用可能となり利便性が向上する共通ID機能

✓ 本人同意に基づくパーソナルデータの連携・利便性の向上に資するオプトイン機能 等

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

（参考）要件定義のイメージ

内閣府が掲示するリファレンスアーキテクチャを参考にICTインフラの要件定義における主な検討事項をイメージとして提示

構成層	機能群	リファレンスアーキテクチャでの定義
機能	サービス連携	都市OS上で動作する各種サービスと連携する機能やAPIを提供。共通サービスやオープンAPIを提供し、API管理や都市OS間連携の機能を持つ。
	認証	利用者、又は、スマートシティサービス、他都市OSに対して、用途に応じた認証方法を提供。認証・認可やユーザ管理の機能を持つ。
	サービスマネジメント	都市OS上で動作するスマートシティサービスを管理する機能を提供。サービス管理やサービス利用履歴管理の機能を持つ。
データ	データマネジメント	都市OSに保存・蓄積するデータの管理や、地域内外に分散されたデータを仲介する機能を提供。データ仲介やデータ管理の機能を持つ。
データ連携	アセットマネジメント	都市OSと連携するスマートシティアセットや他システムの管理と、スマートシティアセットへの制御を実行する機能を提供。デバイス管理やシステム管理の機能を持つ。
	外部データ連携	スマートシティアセット、又は、他システムとのインタフェースを管理し、データフォーマットやプロトコル差異を吸収する機能を提供。データ処理やデータ伝送の機能を持つ。
非機能要件	セキュリティ	都市OSの内外部の脅威から都市OSを防御するために必要な機能を提供。
	その他非機能 (運用要件等)	都市OSのITシステム運用に必要なシステム管理機能や管理プロセスを提供。等

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージに対する主な論点・ご意見（1/2）

第3回協議会後の各部会や個別の懇談にて、サービス企画やICTインフラについて複数のご意見・要望を頂いている

サービス全体 （ニーズ・ペイン および実施主体）

- 来年度には**サービスの全体観を再設定するフェーズ**が必要。短期的に取り組める施策のうち、**ニーズが見込めるものはマネタイズも検討した上で実装を進めていくことが望ましい**。一方で**長期的に取り組むものについてはビジョンオリエンテッドでバックキャスト的な思考に基づき、今何をやらないといけないのかを逆算し実施**したい。また、**受益者負担についても検討が必要**ではないか
- 協議会に参加する団体・企業らが**更に主体的に実証などに参加**いただけることが望ましい
- **ICTインフラで実現可能な機能や収集・提供可能なデータをモビリティ/まちの賑わい部会によるサービス検討側へ共有**していただくことで、サービス検討側の具体化を促進出来るのではないか
- ニーズの議論は3年間繰り返されていると感じている。議論はし尽くされており、**試行錯誤しながら実行する時期**であるのではないか

MaaSによる 複数の交通情報・ 手段の提供施策

- 2次交通を含め、どういったサービスを提供していくのか、**ユーザのニーズがあり、かつマネタイズの可能性があるのか、各業者で完結しているサービスをどう連携させるのかを具体化**させていく必要がある
- 地域全体の交通利便性をあげるという**全体感（南大沢スマートシティの目指す方向性）をより一層、地域住民に伝えていく余地**があると感じている。地域のニーズやペインの確認のうえ周知に努めたい
- 地域資源についても**回遊性を促すだけの魅力を有しているかの見極めと魅力度向上の取り組み**が必要
- **団地居住者は高齢者が多いことも踏まえてサービス像をくみ上げていく必要**もあるのではないか

オンライン コミュニティ 形成の オフライン 融合の コミュニティ 形成

コミュニティ スペース （オフライン）

- コミュニティ形成を実施することには意義があると考えますが、実施には**運営の担い手、継続性の担保、役割分担、コスト**といった課題がある。また**形成には一定の時間を要する**ことから関係者との継続的かつ丁寧な協議も必要ではないか
- 施設予約については、八王子のHPなど**既存リソース活用が必要**。また、最終的には団地に限らない地域住民、学生、来訪者が参画するコミュニティを目指すものの、当初は1団地内での実施など**小さい規模で始めるのがよい**のではないか
- **オンライン上でのコミュニティ形成**についても構想の余地があるのではないか

SNS/デジタル サイネージ

- デジタルサイネージについては**商業施設はコンテンツがあるが、そのほかのコンテンツの充実が課題**
- 民間事業者としてデジタルサイネージの効果をより高めていくためには、**将来的に商業施設のイベントやセール情報を団地エリアの筐体でも放映し、住民のみなさまにそうしたイベントやセールを認識いただき、商業施設に足を運んで頂くことが望ましい**のではないか
- SNSについては商業施設の規模によっては施設単体でSNS発信するほど大きな規模ではない場合もあると考えられる。**南大沢全体でSNSやHP運営を実施する**のはどうか

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージに対する主な論点・ご意見（2/2）

第3回協議会後の各部会や個別の懇談にて、サービス企画やICTインフラについて複数のご意見・要望を頂いている

地域ポイント

- スタンブラリーを今後改めて実施するのであれば、**より多くの店舗の巻き込みが必要**ではないか
- スタンブラリーは昨年実施し一定機能したと考えられるが、**それをどう実装し、どう告知していくのか**が課題

駐車場の満空や 場所に関する 情報提供サービス

- **満空情報のICTインフラによる管理**、南大沢駅付近の**道路上への満空情報の表示**（看板等によるリアルタイム表示）、**ETCの決済での活用**、**EV向け充電スペースの確保と同情報の発信**、複数施設での**買物金額の合算等**が実現できるとよいのではないか
- 駅前から離れた駐車場利用時の**インセンティブ付与には課題が多く**、対応方法の検討含め丁寧な議論が必要。南大沢エリアの場合、**10分～15分程度の待ち時間であれば目的地の最寄り駐車場でお待ちになる方が多い印象**である
- 駐車場収入をビジネスの柱に位置付けているか否かで本サービスへの取り組みのスタンスも異なるのではないか
- 駐車場利用者の利便性を高めるが、一方で駐車場に関する強い要望はお客様から頂いていない認識

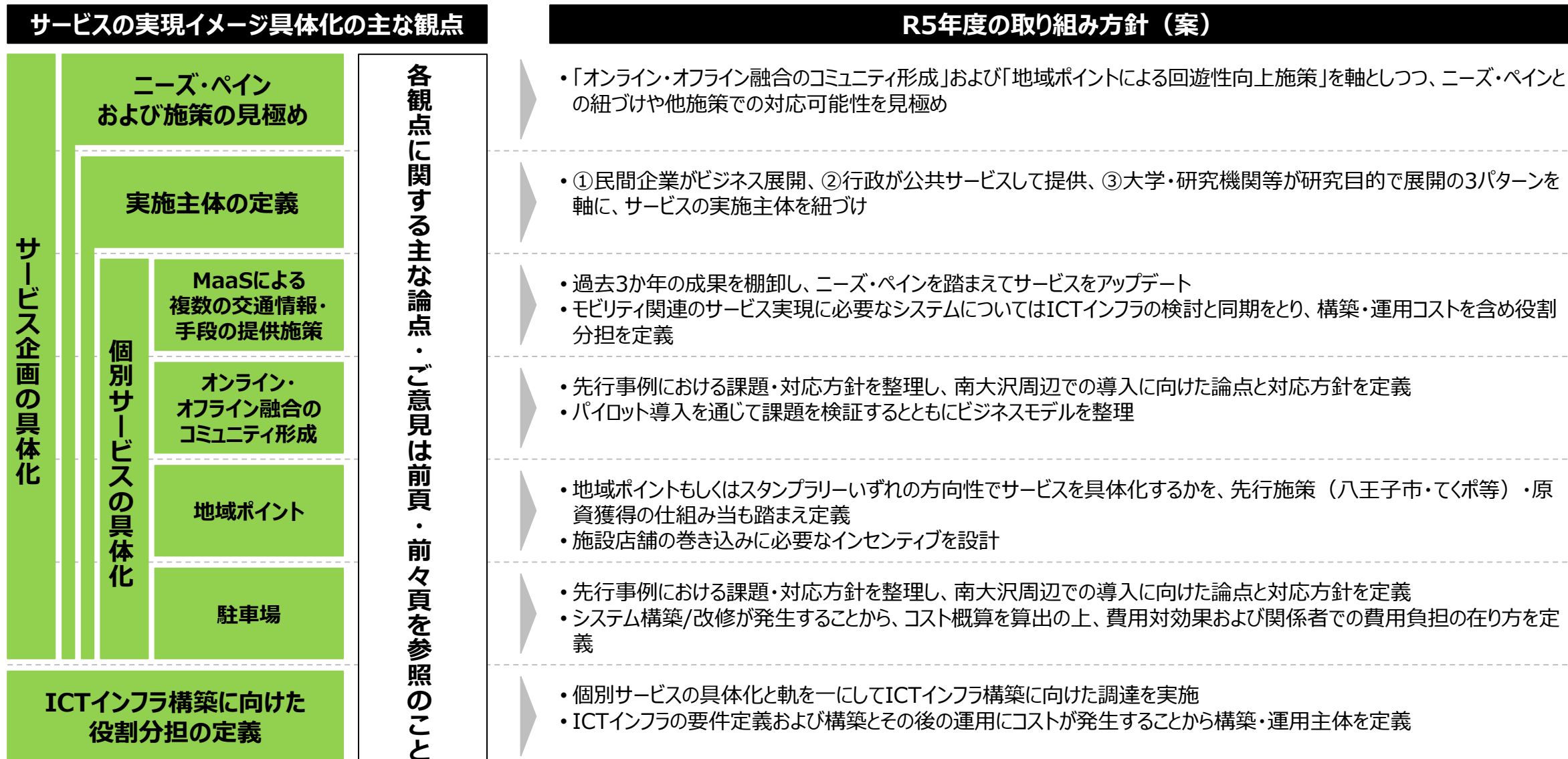
ICTインフラの 構築・運用

- **ICTインフラ側から構築すべき機能、取得すべきデータを挙げる**ことも重要。例えば人流データなど提供可能性のあるデータ類を示すことで、まちの賑わい部会・モビリティ部会側でのサービス企画の検討を促進させることもできるのではないか
- 次年度以降も**TDPF（東京データプラットフォーム）の検討チームとも情報交換し、都市OS間の連携についても検討**すべき
- 例えば交通情報のリアルタイム提供をはじめとしたサービスをICTインフラを活用して実現していくのであれば、**南大沢スマートシティ協議会として整備する部分と、各事業者が整備する部分との整理**が必要。相応の構築・運用コストを（事業者ではなく）南大沢スマートシティ協議会側で負担していく必要があるのではないか

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービスの実現イメージ具体化に向けた取り組み方針（案）

ニーズ・ペインと施策を見極めつつ実施主体を定義し、個別サービスとICTインフラの構築を同期をとって推進していく



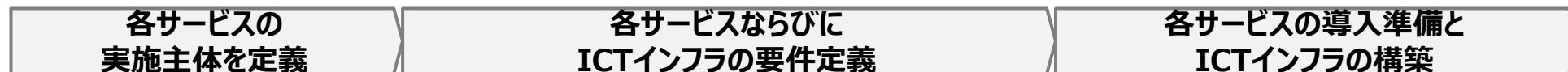
各観点に関する主な論点・ご意見は前頁・前々頁を参照のこと

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

サービス企画具体化に向けた直近の検討ステップ（案）

概ね1年程度（R5年度いっぱい）をめどに実施主体とサービスの具体化と業務・システム構築ならびにICTインフラの構築を進める。その上で段階的にサービス導入を開始することを想定

← 概ね1年程度の期間での実施を想定 →



ニーズ・ペイン
および施策の見極め

ニーズ・ペインや
過年度実証の
棚卸・施策見極め

実施主体の定義

サービス毎の
実施主体の定義

★ 実施主体の決定

MaaSによる
複数の交通情報・
手段の提供施策

オンライン・
オフライン融合の
コミュニティ形成

地域ポイント

駐車場

先行事例における
成功要因や
実現に向けた
課題の整理・分析

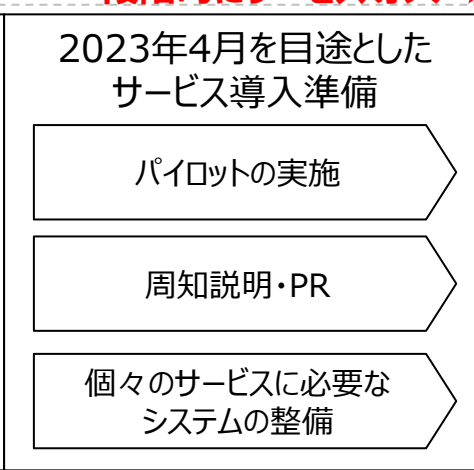
← 実施主体を中心とした
各サービスの具体化 →

サービス要件の定義
および
ビジネスモデルの具体化

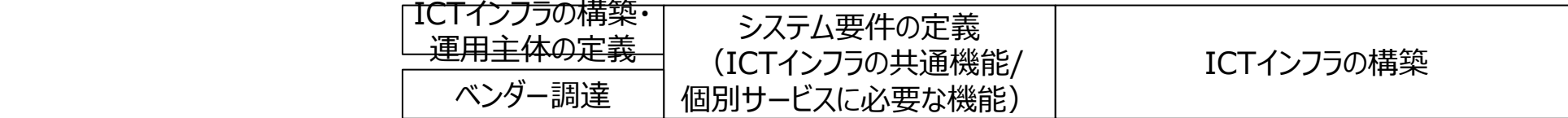
★ サービスの具体化完了

業務プロセス定義
(・システム構築準備)

★ 段階的にサービス導入 ★



ICTインフラ構築に向けた
役割分担の定義と構築



サービス企画の具体化

4.社会実装に向けた施策（サービス）の具体検討

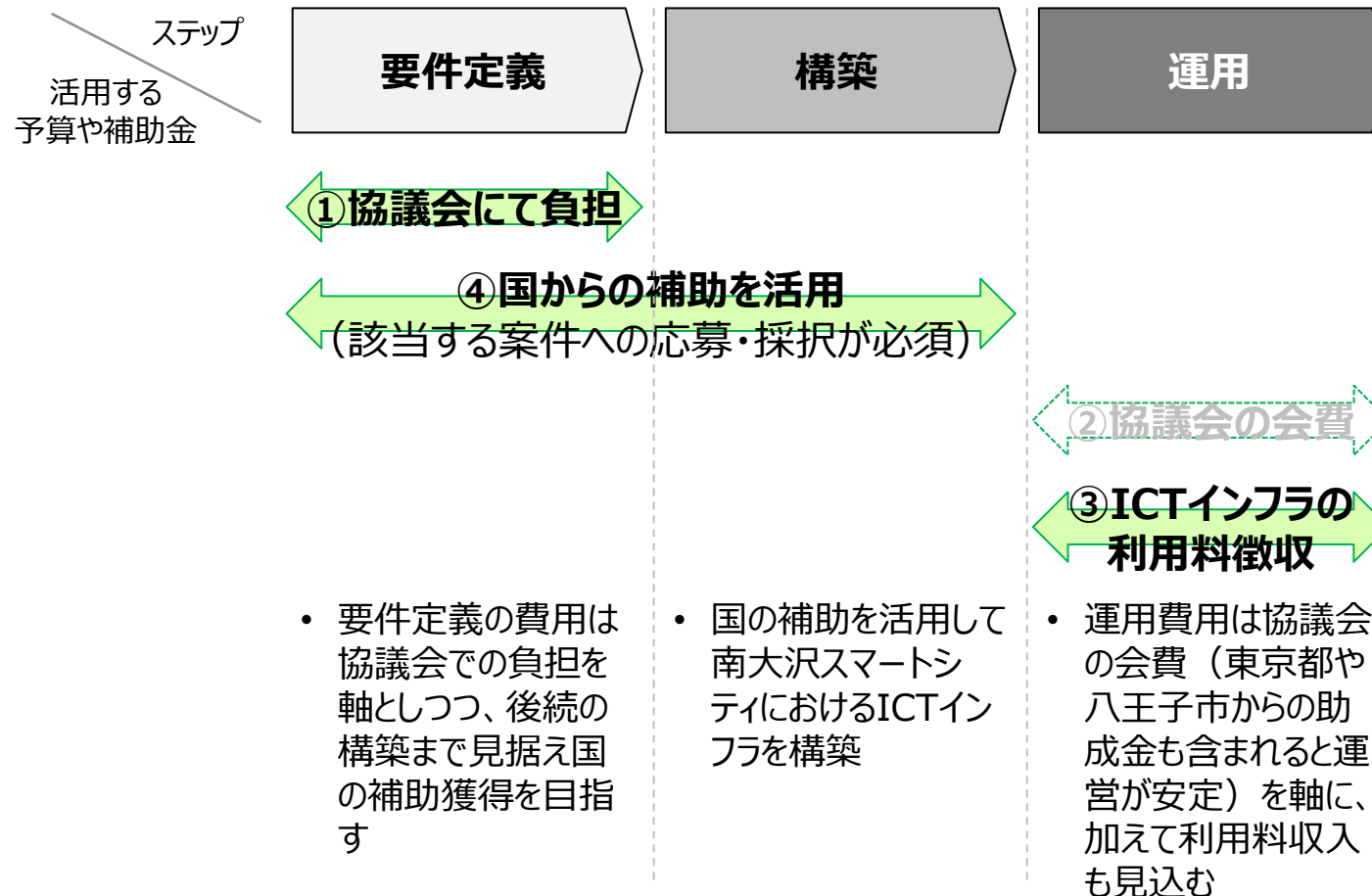
（参考）ICTインフラの構築・運用に係る費用の考え方

南大沢スマートシティにおけるICTインフラの構築・運用に必要な費用をどのように賄うかの定義も今後必要となる

ICTインフラの構築・運用費用の捻出パターン

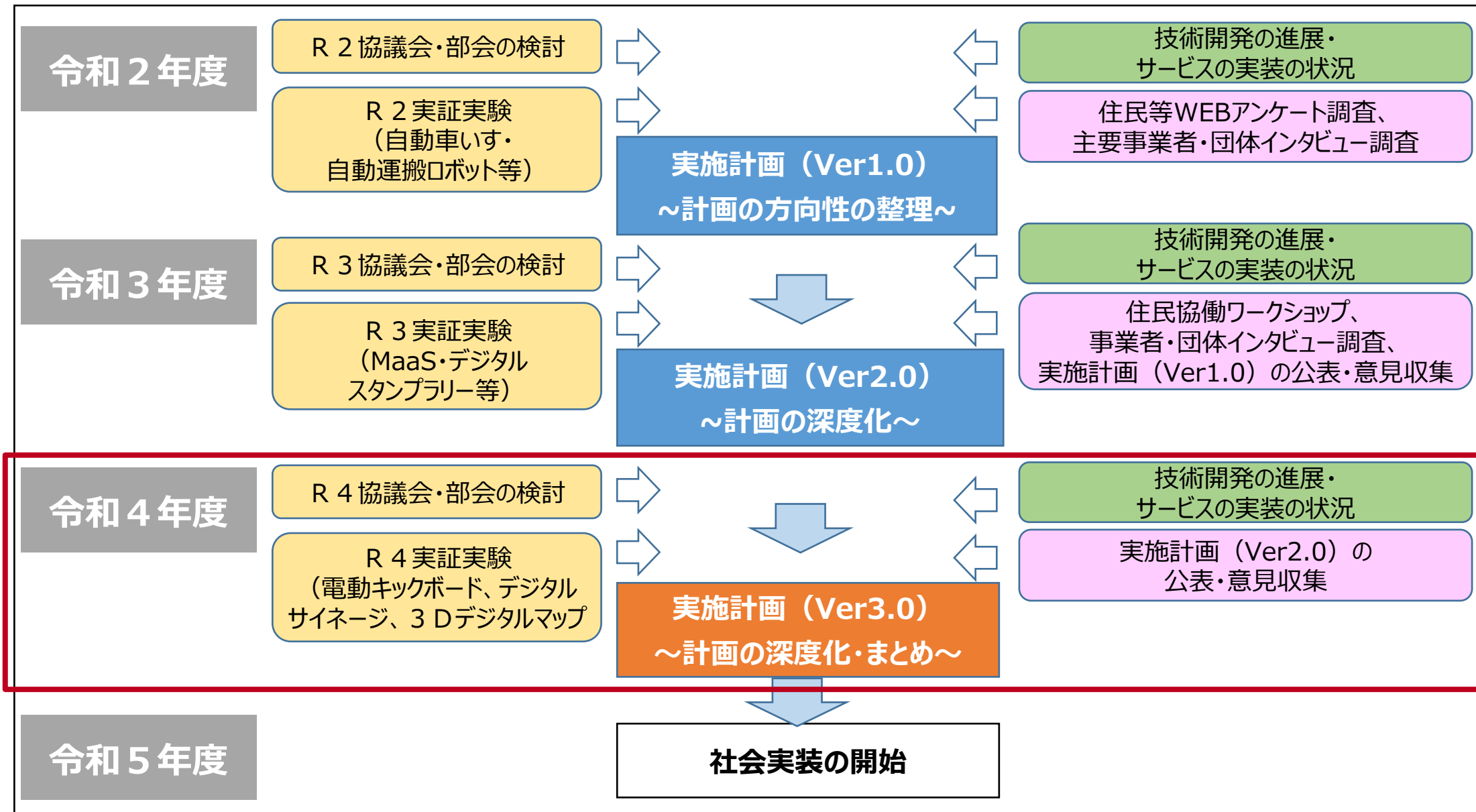
- 1 特定の事業者・団体が負担**
 - 運営主体（コンソーシアム等。南大沢における協議会）に参加している企業や団体が費用を負担
- 2 コンソーシアムの会費（会費の一部を充当）**
 - 運営主体に参加している企業・団体から会費を徴収・一部を充当
※南大沢スマートシティ協議会では会費の徴収は想定しない
- 3 ICTインフラの利用料**
 - ICTインフラを利用する企業・団体（・市民）から利用料を徴収
 - 固定的ないしはトランザクションごとに料金を課金
- 4 国からの補助**
 - 例えば総務省や国交省によるスマートシティやデータプラットフォームに関する補助を

ICTインフラ構築・運用の各ステップにおける予算や補助金の活用イメージ



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の最終まとめ

南大沢スマートシティ実施計画の改定



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver3）の最終まとめ

実施計画Ver3 構成（案）

R4年度の取り組みを踏まえ実現イメージ・実証実験・運用体制を中心にVer2を更新。ICTインフラは新章を追加する。

R3年度 実施計画（Ver2）

1. 概要	• 背景・目的、本協議会の対象範囲、検討の流れ
2. 地域の概況	• 地域の概況とテーマ別の現況
3. 地域のニーズ	• Webアンケート、ワークショップ、インタビュー結果
4. 地域の将来動向・計画	• 南大沢および東京都・八王子市の将来計画
5. 地域の課題	• テーマ別の現況・ニーズ・将来動向を踏まえた課題
6. スマートシティの今後の方向性	• スマートシティの将来像（ビジョン・コンセプト）
7. 実現イメージとロードマップ	• 実現イメージとロードマップ
ICTインフラに関しては章を設けず	
8. 実証実験	• R2/R3年度の実証実験の内容・結果
9. 実施・運用体制イメージ	• R5年度以降の実施・運用体制構築に向けた論点
10. 今後の展開と課題	• R4年以降の協議会課題
補足.実施計画（Ver1）への意見と対応	• パブコメの概要と対応方針
参考資料	• 先進事例、各検討の詳細

R4年度 実施計画（Ver3）の構成案と主な更新・追記箇所

1. 概要	• 基本的にはVer2を踏襲
2. 地域の概況	• 基本的にはVer2を踏襲 • データの更新・補足の分析追加、内容の見直し等 を適宜更新
3. 地域のニーズ	• 基本的にはVer2を踏襲
4. 地域の将来動向・計画	• 基本的にはVer2を踏襲 • 関連する将来計画等（まちづくり方針等） を追加・更新
5. 地域の課題	• 基本的にはVer2を踏襲 • 「その他の課題」のコロナ禍に関する記載を更新、駐車場の課題を追加
6. スマートシティの今後の方向性	• ビジョン・コンセプトはVer2を踏襲 • R4年度の実証事業ならびにサービス企画で扱った施策 を適宜追加
7. 実現イメージとロードマップ	• ①MaaS、②オンライン・オフライン融合コミュニティ形成、③地域ポイント、④その他（駐車場満空情報等）の 具体イメージとロードマップ を追加
8. ICTインフラの方向性 新章	• ICTインフラ構築の目的、構築に向けた主要論点とサービス側からの要件、左記を踏まえた全体像と実現ロードマップ を新規追加
9. 実証実験	• R4年度の実証事業 （電動キックボード・デジタルサイネージ・ARナビ）の概要と 検証結果 を追加
10. 実施・運用体制	• R4年度以降の運営体制の概要 を追加
11. 今後の展開と課題	• 今後の課題について 追加すべきトピックを（適宜で）追加
補足.実施計画（Ver2）への意見と対応	• 実施計画Ver2に対するパブコメの概要と対応方針 を追加
参考資料	• 先進事例（会津若松スマートシティ等）・各検討内容の詳細 等を追加

5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の最終まとめ

実施計画Ver3 改定のポイント（3/4） 9.実証実験

9.実証実験における実施計画Ver.3の改定ポイントおよび追加する主なコンテンツは以下の通り

9.実証実験

改定のポイント

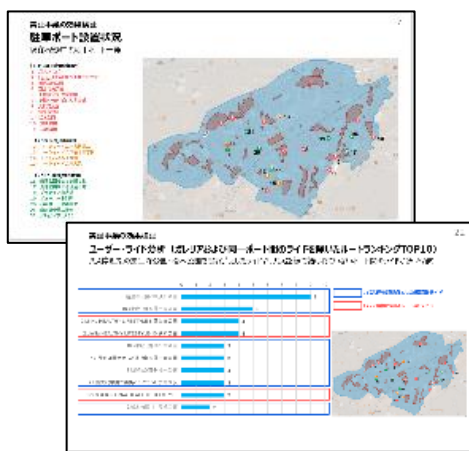
- 実施計画Ver3では、R2・R3年度の実証に加え、R4年度に実施した3つの実証事業（電動キックボード、デジタルサイネージ、ARナビ）について実証の概要と効果検証を追加

- 電動キックボードの実証概要と効果検証結果を追加します

- デジタルサイネージの実証概要と効果検証結果を追加します

- ARナビの実証概要と効果検証結果を追加します

実施計画Ver.3で追加する主なコンテンツ



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の最終まとめ

実施計画Ver3 改定のポイント（4/4） 10.実施・運用体制

10.実施・運用体制における実施計画Ver.3の改定ポイントおよび追加する主なコンテンツは以下の通り

10.実施・運用体制

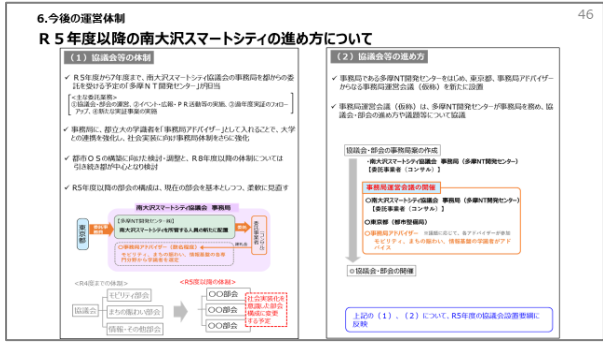
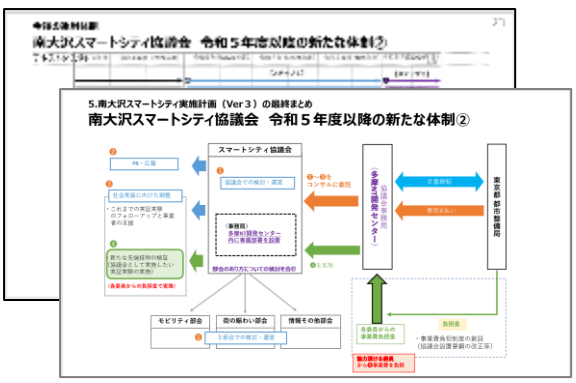
改定のポイント

- 実施計画Ver3ではR5年度以降の実施・運用体制を追加
- R5年度時点の運用体制やR5年度以降の協議会・部会の体制、実証事業や社会実装などを含む具体的な進め方を追加

実施計画Ver.3で追加する主なコンテンツ

- R5年度以降は協議会事務局を第三者に委託し、①協議会での検討・運営、②PR・広報、③社会実装に向けた調整を実施するとして**R5年度以降の実施・運用体制を追記**します

- **協議会等の具体的な運用体制や進め方を追記**します



参考資料

参考資料①：各部会の振り返り

参考資料②：各実証のアンケート票

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第4回モビリティ部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業

- 電動キックボードの利用目的を知りたい。際しては、曜日別時間帯別の利用状況の変化を分析する必要がある。
- 今回の実証事業の目的は、**移動負担の軽減負担、既存の手段からの切り替わりの**2点と考えるが、これらの**目的適合性の検証が必要**だと考える。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 地域MaaSについては、2次交通を含め、**どういったサービスを提供していくのか、ユーザーのニーズがマネタイズの可能性含めあるのか、各事業者で完結しているサービスをどう連携させるのか**、ということを具体化させていく必要がある。また、**南大沢は高低差がある、団地は高齢者が多いという現状を踏まえたサービスを検討**する必要がある。
- 交通インフラを利用するにあたってのボトルネックとして、**地域全体の交通利便性を向上させるという全体観が地域住民に伝わっていない**のではないかと。
- 現状はニーズに合致しているか**試行錯誤しながらサービスを実施する**段階ではないか。
- **来年度、サービスの全体観を再設定するフェーズが必要**。短中長それぞれで実施するものについて、**バックキャスト的に進めたい**、

部会としての対応（案）

実証事業

- アクティブユーザの利用詳細時間帯、ライドの起点終点の場所の統計、ヒアリング等から、利用状況の変化を分析する。
- 移動負担軽減については、ヒアリング結果から一定の効果があったと考えられる。既存手段からの切り替わりについては、3月までは電動キックボードの周知、普及を優先させるものの、4月以降は多様な料金プランの提供等の施策を実施し検証する。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 地域MaaSサービスは、ユーザー目線によるサービスの必要性（高低差のある土地で高齢者も一定いらっしゃる等の地域特性も含め、ニーズがどこにどの程度あるか）・利用のメリットも含めて引き続き検討を進める。また実施主体を中心としたマネタイズに関する検討も実施していく。
- 南大沢スマートシティの広報を引き続き進めるとともにモビリティに関する施策実施時も地域住民に対する広報活動を活発に実施する。
- 南大沢のニーズ・ペインと施策の合致性については議論を重ねながらも、施策案の実施に向けて来年度にかけて実施主体や実証費用、実証や実装の主体を検討する。
- 実証計画Ver 3等をもとに、来年度施策の棚卸しを実施しバックキャスト的に進める。また、進める際は受益者負担等の費用負担についても検討する。

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第3回まちの賑わい部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業

- 今後の実装検討に向け、**ビジネスモデルを示す**必要がある。
- バッテリー貸出機能があることの効果を知るため、**デジタルサイネージに接近する目的が、サイネージなのかバッテリー利用なのか分析してほしい**
- ビーコンの設置においては、**情報の扱いに関する説明を丁寧**にし実施してほしい。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 部会内において、施策案は総論では合意できている。**事業化の主体やマネタイズについて検討を進める必要がある。**
- コミュニティ形成は団地運営上重要な課題であるが、**運営の担い手、継続性の担保、役割分担、コストといった課題は検討するべき**。また、コミュニティ形成は**時間を要する施策である**。
- 各商業施設ごとではなく**南大沢全体でSNSやHP運営を実施する**のはどうか。
- 地域ポイントによる回遊性向上については、**スタンプラリーを昨年度実施したことを踏まえ実装方法や告知方法を検討するべき**
- 駐車場については、**満空情報をICTインフラで管理し、付近の道路上の看板でリアルタイム表示**されるとよい。また、**ETC決済の導入やEV充電スペースの情報管理・発信**についてもできるとよい。



部会としての対応（案）

実証事業

- デジタルサイネージ実証事業実施事業者とも個別に討議を実施し、将来的なビジネスモデル案を検討していく。
- 目的別で集計可能な統計情報はないものの、ビーコン情報のほかバッテリー貸出件数を用いて推測する等分析方法を検討する。
- 今回に限らずビーコン設置等、ユーザーの情報を収集するデバイスを設置する場合、個人情報の扱いはじめ丁寧な説明を実施する。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 施策案に関連する企業・団体様と協議しながら事業化を具体化するとともに、事業主体やマネタイズについて来年度にかけて検討する。
- 頂いたご意見を踏まえ、実施主体を中心としたサービスの具体化・課題への対応方針をはじめ議論を継続していく
- SNSやHP運営について、実施の意義、協議主体や費用対効果を踏まえて施策案を具体化の上実施する。
- 昨年度に実施したスタンプラリーにおける課題や効果を改めて棚卸した上で、実施主体を中心にサービスの具体化・課題への対応方針をはじめ議論を進める中で実装方法や告知方法についても検討していく。
- 駐車場向けサービスは頂いたご意見も踏まえ、ニーズやサービスの具体化の議論を継続していく。

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第4回情報・その他部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>ARナビが住民のニーズに</u>応えられているか、<u>広報が適切に実施されたかの検証が必要ではないか</u> ■ 南大沢地域では道を迷う確率は低く、<u>ARナビのニーズとしてはバリアフリールートを利用する人だと考えられるため、その人達へ体験していただく必要がある。</u>
来年度以降の施策の実装	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートシティ実現に向けた意識向上のため、<u>企業団体様が実証事業に主体的に参加いただくのがよい。</u>
ICTインフラの検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICTインフラのロードマップについて、<u>ステップ自体に疑義はないが、1年間での実現可能性には疑問がある。</u> ■ サービス検討側からICTインフラ検討側への要求を受けるほか、<u>ICTインフラ側から構築すべき機能、取得すべきデータ等のサービス側への提案</u>があるとよい



部会としての対応（案）

実証事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ARナビの南大沢への必要性については、利用するに至らなかった人の意見も合わせてアンケート・ヒアリングで確認する。広報に関する検証についても効果検証の振り返り項目に追加する。 ■ 現状、社会福祉法人の協力のもと車いす利用者の声を集めているが、継続して集める。また、本実証事業を踏まえた実装に向けては、ARやナビゲーションにこだわらず実証結果やニーズ・ペイン踏まえて検討する。
来年度以降の施策の実装	<ul style="list-style-type: none"> ■ ARナビ体験会の参加勧奨、企業団体様の意向に応じた他部会への参画、事業者提案の実証事業の支援等、事務局を中心に主体的に参画する企業団体様のサポートを実施する。
ICTインフラの検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロードマップで提示している期間は目安であり、今後の施策具体化、施策実現に向けたステークホルダーの増減等で期間は前後する。来年度以降、徐々に期間を精緻化していく。 ■ 人流の取得や3Dデジタルマップから取得できる情報の提供など、ICTインフラ側で実現できることをサービス検討側へ共有する

(参考) 電動キックボードに関するアンケート・ヒアリング項目

Q1.性別

- 1.男性 2.女性 3.回答したくない

Q2.年齢

()歳

Q3.お住まいはどちらですか？

- 1.南大沢駅周辺(南大沢・上柚木・下柚木・別所・鎌水・松木) 2.八王子市内
3.多摩市部 4.23区内 5.神奈川県 6.その他()

Q4.日常でどのような移動手段を活用しておりますか？(複数回答可)

- 1.電車 2.バス 3.自動車 4.バイク 5.自転車・シェアサイクル 6.電動キックボード 7.徒歩

Q5.電動キックボードシェアリングサービス『BIRD』をご存じでしたか？

- 1.よく利用している 2.利用したことがある
3.利用したことはないが、どんなサービスかは知っている 4.名前は聞いたことがある
5.知らなかった

Q6.南大沢で『BIRD』を利用したことがありますか？

- 1.はい 2.いいえ

(Q6で「1.はい」と回答した方にお伺いします)

Q7.利用しようと思った理由を教えてください。

- 1.便利そうだったから 2.気持ちよさそうだったから 3.疲れなさそうだったから
4.新しいものが好きだから 5.駐輪スペースを気にしなくて良さそうだったから
6.人ごみを避けられるから 7.近くにポートができたから
8.その他()

(Q6で「1.はい」と回答した方にお伺いします)

Q8.どのような用途で『BIRD』を利用しましたか？(複数回答可)

- 1.通勤 2.通学 3.業務 4.買い物 5.通院 6.余暇・レクリエーション
7.その他()

(Q6で「1.はい」と回答した方にお伺いします)

Q9.どれぐらいの頻度で『BIRD』を利用しますか？

- 1.毎日 2.週2~3回 3.週1回程度 4.月に数回程度 5.現在は利用していない

(Q6で「2.いいえ」と回答した方にお伺いします)

Q10.電動キックボードシェアリングサービス『BIRD』を利用してみたいと思いますか？

- 1.はい 2.いいえ

(Q10で「1.はい」と回答した方にお伺いします)

Q11.利用してみたいと思う理由を教えてください。(複数回答可)

- 1.便利そう 2.気持ちよさそう 3.疲れなさそう 4.新しいものが好きだから
5.駐輪スペースを気にしなくて良い 6.人ごみを避けられそう
7.近くにポートがあるから 8.その他()

(Q10で「2.いいえ」と回答した方にお伺いします)

Q12.利用したくないと思う理由を教えてください。(複数回答可)

- 1.危なそう 2.他の乗り物で事足りているから 3.使い方やルール、事故の対応がわからないから
4.運転免許証がないから 5.近くにポートがないから 6.金額が高そう
7.理由は特にない 8.その他()

Q13.15~20分(2~3km)の移動で、いくらなら日常的に利用しますか？

- 1.200円未満 2.200~299円 3.300~399円 4.400~499円 5.500円以上

Q14.どのような場所にポートがあれば便利と感じますか？(複数回答可)

- 1.駅前 2.最寄りのバス停 3.住宅地 4.公共施設(市役所・図書館・体育館など)
5.商業施設(コンビニ・スーパー・ショッピングセンター等) 6.教育施設(大学など)
7.余暇・レクリエーション施設(公園など) 8.医療・福祉施設(病院など)
9.その他()

Q15.今後、身近な場所や地域全体にポートが増えた場合、利用する頻度は増えますか？

- 1.とても増える 2.多少増える 3.変わらない 4.利用しない

Q16.2023年4月以降も、お住いの団地にポートはあったほうがよいですか？

- 1.はい 2.いいえ

(参考) デジタルサイネージに関するアンケート・ヒアリング項目 (1/2)

アンケートは下記の11項目で実施予定 (ネット上でアンケートフォームに回答頂く/事務局にて対象者へヒアリングを予定)

<p>1.年代を教えてください。(必須) *</p> <p><input type="radio"/> 10代以下</p> <p><input type="radio"/> 20代</p> <p><input type="radio"/> 30代</p> <p><input type="radio"/> 40代</p> <p><input type="radio"/> 50代</p> <p><input type="radio"/> 60代</p> <p><input type="radio"/> 70代以上</p>	<p>基本情報 (年代)</p>	<p>3-2.【来訪者のみ】南大沢への訪問目的を教えてください。(複数選択可) (必須) *</p> <p><input type="checkbox"/> 通勤・通学</p> <p><input type="checkbox"/> 出張・業務等</p> <p><input type="checkbox"/> 買い物等</p> <p><input type="checkbox"/> 観光等</p>	<p>基本情報 (来訪目的)</p>	<p>5.どのコンテンツをご覧になりましたか(複数選択可) (必須) *</p> <p><input type="checkbox"/> 公園でのイベント情報(耐震車の体験や観察会、お絵描きイベント)</p> <p><input type="checkbox"/> 南大沢駅前商業施設のイベント情報(クリスマス・お正月等のイベント)</p> <p><input type="checkbox"/> 南大沢駅前商業施設の情報(店舗、優待、駐車場等の情報)</p> <p><input type="checkbox"/> 東京都・八王子市の行政情報(コロナワクチン、災害、節電、太陽光等の情報)</p> <p><input type="checkbox"/> その他: _____</p>	<p>基本情報 (閲覧したもの)</p>
<p>2.性別を教えてください。(必須) *</p> <p><input type="radio"/> 男</p> <p><input type="radio"/> 女</p> <p><input type="radio"/> 回答しない</p>	<p>基本情報 (性別)</p>	<p>3-3.【来訪者の方のみ】どのくらい南大沢に来訪されますでしょうか。(必須) *</p> <p><input type="radio"/> 毎週またはそれ以上</p> <p><input type="radio"/> 月一回程度</p> <p><input type="radio"/> 年に数回程度</p> <p><input type="radio"/> 今回初めて来訪した</p>	<p>基本情報 (来訪頻度)</p>	<p>6.どこでサイネージをご覧になりましたか。(複数選択可) (必須)</p> <p><input type="checkbox"/> フレンテ南大沢</p> <p><input type="checkbox"/> パオレ南大沢/ガレリア・ユギ(イトーヨーカ堂南大沢店)</p> <p><input type="checkbox"/> 三井アウトレットパーク 多摩南大沢</p> <p><input type="checkbox"/> 東京都立大学</p> <p><input type="checkbox"/> トミンハイム南大沢/コーシャハイム下柚木</p> <p><input type="checkbox"/> グランピア南大沢/バルコリーヌ南大沢</p>	<p>基本情報 (閲覧した場所)</p>
<p>3.居住地を教えてください。(必須) *</p> <p><input type="radio"/> 八王子市南大沢地域</p> <p><input type="radio"/> 八王子市(南大沢地域以外)</p> <p><input type="radio"/> 東京23区</p> <p><input type="radio"/> 東京都(23区、八王子市を除く)</p> <p><input type="radio"/> 神奈川県相模原市</p> <p><input type="radio"/> その他の地域</p>	<p>基本情報 (居住地)</p>	<p>4.南大沢スマートシティ協議会が2022年12月からChargeSpotの筐体にて実施している、デジタルサイネージをご覧になりましたか。(必須) *</p> <p>※ChargeSpotはスマートフォン等の充電器のシェアリングサービスです。充電器のスタンドに液晶画面があり、そこでコンテンツを放映しています。</p> <p><input type="radio"/> 見た</p> <p><input type="radio"/> デジタルサイネージは見たが、ChargeSpotのものではない/または分からない。</p> <p><input type="radio"/> デジタルサイネージを見ていない。</p>	<p>基本情報 (閲覧有無)</p>	<p>7.デジタルサイネージでご覧になった情報は興味関心のある情報でしたでしょうか。(必須)</p> <p><input type="radio"/> デジタルサイネージに表示された情報が自分にとって興味関心のある情報だった</p> <p><input type="radio"/> デジタルサイネージに表示された情報は自分にとって興味関心の低い情報だった</p> <p><input type="radio"/> デジタルサイネージの情報は特に印象に残っていない(何を見たか覚えていない)</p>	<p>利便性 (閲覧後の意識変化の有無)</p>

(参考) デジタルサイネージに関するアンケート・ヒアリング項目 (2/2)

8. デジタルサイネージをご覧になった後、行動に変化はありましたでしょうか。
(必須)

- デジタルサイネージに表示されたイベントへの参加、節電やスムーズBiz等を実施した
- デジタルサイネージに表示されたイベントへの参加、節電やスムーズBiz等を実施しようと思っている
- 特に行動に変化はない

利便性
(閲覧後の行動
変化の有無)

9. 今後、デジタルサイネージが設置してあるとよい場所を選択してください。
(複数選択可) (必須) *

- 集合住宅 (エレベーター、エントランス) 等
- バス停や駅構内
- 公共交通機関 (電車・バス等) の車内
- 南大沢駅周辺の商業施設
- 公共施設 (公園等)
- 設置してほしい場所はない (サイネージ自体が不要)
- その他: _____

地域適合性
(今後放映を求める場所)

10. 今後、デジタルサイネージで表示してほしいコンテンツを選択してください。
(複数選択可) (必須) *

- 南大沢地域のイベント・コミュニティに関する情報
- 東京都・八王子市の行政情報
- 南大沢周辺の商業施設でのイベント・セール情報
- 防災情報
- 交通機関の運行情報
- 南大沢周辺の天候情報
- その他: _____

地域適合性
(今後放映を求める
コンテンツ)

11. そのほか、南大沢スマートシティ協議会へのご意見がありましたらご記入ください。
(任意)

回答を入力

その他
(協議会への意見)

(参考) ARナビに関するアンケート・ヒアリング項目 (1/2)

12個の質問で、健常者・ハンディキャップを持つ方々の声を収集



1.あなたの年代を教えてください。(必須) *

10代以下

20代

30代

40代

50代

60代

70代以上

2.あなたの性別を教えてください。(任意)

男

女

回答しない

3.南大沢への訪問・居住状況を教えてください。(必須) *

居住している

通勤・通学

出張・業務等

買い物等

観光等

3-2.【来訪者の方のみ】どのくらい南大沢に来訪されますでしょうか。(必須) *

毎週またはそれ以上来訪する

月一回程度来訪する

年に数回程度来訪する

今回始めて来訪した

4.ARナビを利用されたきっかけは何ですか。(必須) *

協議会参画団体等からの案内 (AR体験会を含む)

ホームページ

SNS (twitter, facebookなど)

ポスターやチラシ

5.ARナビはご利用されましたか(必須) *

利用した

利用しなかった

5-2.利用された方へ質問です。どのルートを利用されましたか。(複数選択可)(必須)

南大沢駅から三井アウトレットパーク南大沢までのルート

南大沢駅からフレスコ南大沢までのルート (歩行者向け)

南大沢駅からフレスコ南大沢までのルート (バリアフリー向け)

5-3.利用されなかった方にご質問です。利用されなかった理由をご記入ください。(必須)

回答を入力

6.下記の利用有無を選択ください。(複数選択可)(必須) *

車いす

ベビーカー

歩行補助具 (杖、松葉杖など)

上記はいずれも利用していない

7.ARナビによる目的地への案内の満足度はいかがでしょうか。(必須) *

とても満足した

概ね満足した

どちらでもない

あまり満足感はなかった

満足感はなかった

7-2.よろしければ、「7.ARナビの満足度はいかがでしょうか。」で選択肢を選ばれた理由をご記入ください。(必須)

(例)

- ・経路が矢印などで分かりやすく表示されていた
- ・周辺の施設情報が表示されていた
- ・目的地に到着した際の演出 (花火) が楽しかった
- ・屋根付きのルートや自転車向けのルートが欲しい
- ・表示される施設情報が少なかった
- ・目的地までのルートを知っていたのでARナビを利用する必要性が低い

回答を入力

基本情報
(利用しない理由)

基本情報
(移動方法)

利便性
(サービスの満足度)

(参考) ARナビに関するアンケート・ヒアリング項目 (2/2)

